

国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用



〔世情聞書〕

八十一頁

勢中花

河内中花

勢中花の如く、河内中花の如く、河内中花の如く、

河内中花の如く、河内中花の如く、河内中花の如く、

河内中花

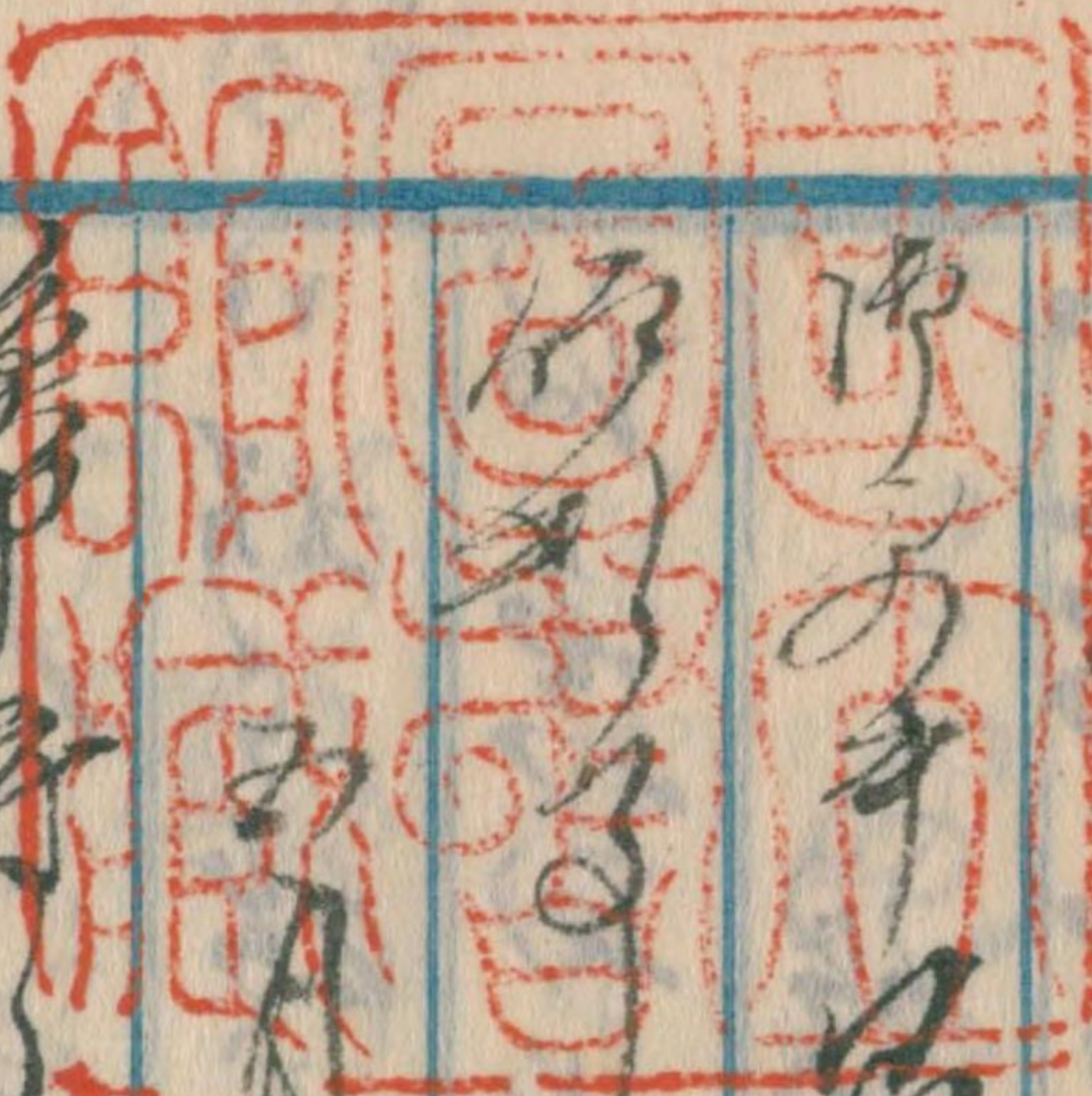
河内中花

河内中花の如く、河内中花の如く、河内中花の如く、

河内中花の如く、河内中花の如く、河内中花の如く、

河内中花の如く、河内中花の如く、河内中花の如く、

河内中花の如く、河内中花の如く、河内中花の如く、

















今更に其の由りては、其の由りては、  
名は成るべし、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、

一 朝廷の事、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、

一 其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、

其の由りては、其の由りては、其の由りては、

其の由りては、其の由りては、其の由りては、

一 其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、

其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、

其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、

其の由りては、其の由りては、其の由りては、

其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、

其の由りては、其の由りては、其の由りては、  
其の由りては、其の由りては、其の由りては、



一 新王の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

但し、新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

一 新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

一 新王の御成敗の御成敗

一 新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

一 新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

一 新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗

此の御成敗は、新王の御成敗の御成敗







一 幸も野川環流 中島平西全等  
二 幸も野川環流 中島平西全等  
三 幸も野川環流 中島平西全等  
四 幸も野川環流 中島平西全等  
五 幸も野川環流 中島平西全等  
六 幸も野川環流 中島平西全等  
七 幸も野川環流 中島平西全等  
八 幸も野川環流 中島平西全等  
九 幸も野川環流 中島平西全等  
十 幸も野川環流 中島平西全等

一 幸も野川環流 中島平西全等  
二 幸も野川環流 中島平西全等  
三 幸も野川環流 中島平西全等  
四 幸も野川環流 中島平西全等  
五 幸も野川環流 中島平西全等  
六 幸も野川環流 中島平西全等  
七 幸も野川環流 中島平西全等  
八 幸も野川環流 中島平西全等  
九 幸も野川環流 中島平西全等  
十 幸も野川環流 中島平西全等





百部

此書の序は、  
胡廷の考を、  
百部

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、  
二十一、  
二十二、  
二十三、  
二十四、  
二十五、  
二十六、  
二十七、  
二十八、  
二十九、  
三十、  
三十一、  
三十二、  
三十三、  
三十四、  
三十五、  
三十六、  
三十七、  
三十八、  
三十九、  
四十、  
四十一、  
四十二、  
四十三、  
四十四、  
四十五、  
四十六、  
四十七、  
四十八、  
四十九、  
五十、  
五十一、  
五十二、  
五十三、  
五十四、  
五十五、  
五十六、  
五十七、  
五十八、  
五十九、  
六十、  
六十一、  
六十二、  
六十三、  
六十四、  
六十五、  
六十六、  
六十七、  
六十八、  
六十九、  
七十、  
七十一、  
七十二、  
七十三、  
七十四、  
七十五、  
七十六、  
七十七、  
七十八、  
七十九、  
八十、  
八十一、  
八十二、  
八十三、  
八十四、  
八十五、  
八十六、  
八十七、  
八十八、  
八十九、  
九十、  
九十一、  
九十二、  
九十三、  
九十四、  
九十五、  
九十六、  
九十七、  
九十八、  
九十九、  
百部

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、  
二十一、  
二十二、  
二十三、  
二十四、  
二十五、  
二十六、  
二十七、  
二十八、  
二十九、  
三十、  
三十一、  
三十二、  
三十三、  
三十四、  
三十五、  
三十六、  
三十七、  
三十八、  
三十九、  
四十、  
四十一、  
四十二、  
四十三、  
四十四、  
四十五、  
四十六、  
四十七、  
四十八、  
四十九、  
五十、  
五十一、  
五十二、  
五十三、  
五十四、  
五十五、  
五十六、  
五十七、  
五十八、  
五十九、  
六十、  
六十一、  
六十二、  
六十三、  
六十四、  
六十五、  
六十六、  
六十七、  
六十八、  
六十九、  
七十、  
七十一、  
七十二、  
七十三、  
七十四、  
七十五、  
七十六、  
七十七、  
七十八、  
七十九、  
八十、  
八十一、  
八十二、  
八十三、  
八十四、  
八十五、  
八十六、  
八十七、  
八十八、  
八十九、  
九十、  
九十一、  
九十二、  
九十三、  
九十四、  
九十五、  
九十六、  
九十七、  
九十八、  
九十九、  
百部

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、  
二十一、  
二十二、  
二十三、  
二十四、  
二十五、  
二十六、  
二十七、  
二十八、  
二十九、  
三十、  
三十一、  
三十二、  
三十三、  
三十四、  
三十五、  
三十六、  
三十七、  
三十八、  
三十九、  
四十、  
四十一、  
四十二、  
四十三、  
四十四、  
四十五、  
四十六、  
四十七、  
四十八、  
四十九、  
五十、  
五十一、  
五十二、  
五十三、  
五十四、  
五十五、  
五十六、  
五十七、  
五十八、  
五十九、  
六十、  
六十一、  
六十二、  
六十三、  
六十四、  
六十五、  
六十六、  
六十七、  
六十八、  
六十九、  
七十、  
七十一、  
七十二、  
七十三、  
七十四、  
七十五、  
七十六、  
七十七、  
七十八、  
七十九、  
八十、  
八十一、  
八十二、  
八十三、  
八十四、  
八十五、  
八十六、  
八十七、  
八十八、  
八十九、  
九十、  
九十一、  
九十二、  
九十三、  
九十四、  
九十五、  
九十六、  
九十七、  
九十八、  
九十九、  
百部



一 宿りぬれに成りぬ中川に云々  
ゆふのひのふりそよふそよふ  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に

一 宿りぬれに成りぬ中川に云々  
ゆふのひのふりそよふそよふ  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に

一 宿りぬれに成りぬ中川に云々  
ゆふのひのふりそよふそよふ  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に

一 宿りぬれに成りぬ中川に云々  
ゆふのひのふりそよふそよふ  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に  
さるる中川に成りぬ中川に







十月

於評定中  
中退勢の上を待たず  
字内に入る

毛利氏  
先之者  
太市郎  
萬平  
孫  
了

○水戸

于後官軍之中ヨリ完状之廉ニ取覽書

水戸表比集涼浪人追討之余ヨリ愛我<sup>愛</sup>官軍度之  
戦争ヲ拒<sup>拒</sup>今度ノ大谷<sup>大谷</sup>而成切<sup>成切</sup>相成<sup>相成</sup>皆走<sup>皆走</sup>水戸配<sup>水戸配</sup>  
相成<sup>相成</sup>於<sup>於</sup>本<sup>本</sup>之兵<sup>之兵</sup>之面<sup>之面</sup>并<sup>并</sup>諸家人<sup>諸家人</sup>救<sup>救</sup>四方<sup>四方</sup>ハ賊配<sup>賊配</sup>  
早朝ヨリ攻撃<sup>攻撃</sup>之積<sup>之積</sup>怒軍<sup>怒軍</sup>中<sup>中</sup>合<sup>合</sup>内<sup>内</sup>自<sup>自</sup>苦<sup>苦</sup>相懸<sup>相懸</sup>右<sup>右</sup>面<sup>面</sup>持場<sup>持場</sup>  
出陣<sup>出陣</sup>致<sup>致</sup>賊兵<sup>賊兵</sup>一<sup>一</sup>季<sup>季</sup>廢<sup>廢</sup>散<sup>散</sup>又<sup>又</sup>先<sup>先</sup>込<sup>込</sup>其<sup>其</sup>軍陣<sup>軍陣</sup>中<sup>中</sup>列<sup>列</sup>  
山<sup>山</sup>即<sup>即</sup>之<sup>之</sup>完<sup>完</sup>滿<sup>滿</sup>スル<sup>スル</sup>風<sup>風</sup>極<sup>極</sup>実<sup>実</sup>之<sup>之</sup>勇<sup>勇</sup>及<sup>及</sup>事<sup>事</sup>ニ<sup>ニ</sup>水<sup>水</sup>戸<sup>戸</sup>表<sup>表</sup>也<sup>也</sup>

戦争<sup>戦争</sup>未<sup>未</sup>為<sup>為</sup>スル<sup>スル</sup>一<sup>一</sup>既<sup>既</sup>戦争<sup>戦争</sup>始<sup>始</sup>知<sup>知</sup>方<sup>方</sup>不<sup>不</sup>  
と攻<sup>と攻</sup>台<sup>台</sup>何<sup>何</sup>ル<sup>ル</sup>と競<sup>と競</sup>ハ<sup>ハ</sup>知<sup>知</sup>ル<sup>ル</sup>と<sup>と</sup>孫<sup>孫</sup>大<sup>大</sup>小<sup>小</sup>砲<sup>砲</sup>頻<sup>頻</sup>  
打<sup>打</sup>掛<sup>掛</sup>方<sup>方</sup>ハ<sup>ハ</sup>戦<sup>戦</sup>守<sup>守</sup>有<sup>有</sup>此<sup>此</sup>方<sup>方</sup>守<sup>守</sup>ハ<sup>ハ</sup>是<sup>是</sup>既<sup>既</sup>氣<sup>氣</sup>を<sup>を</sup>暮<sup>暮</sup>シ<sup>シ</sup>中<sup>中</sup>  
一方<sup>一方</sup>ハ<sup>ハ</sup>戦争<sup>戦争</sup>未<sup>未</sup>為<sup>為</sup>スル<sup>スル</sup>列<sup>列</sup>自<sup>自</sup>知<sup>知</sup>者<sup>者</sup>ニ<sup>ニ</sup>中<sup>中</sup>出<sup>出</sup>攻<sup>攻</sup>  
形<sup>形</sup>取<sup>取</sup>不<sup>不</sup>備<sup>備</sup>多<sup>多</sup>賢<sup>賢</sup>外<sup>外</sup>記<sup>記</sup>今<sup>今</sup>老<sup>老</sup>人<sup>人</sup>姓<sup>姓</sup>名<sup>名</sup>を<sup>を</sup>不<sup>不</sup>知<sup>知</sup>ス<sup>ス</sup>又<sup>又</sup>孫<sup>孫</sup>又<sup>又</sup>勇<sup>勇</sup>然<sup>然</sup>  
之<sup>之</sup>賊<sup>賊</sup>兵<sup>兵</sup>ハ<sup>ハ</sup>要害<sup>要害</sup>守<sup>守</sup>山<sup>山</sup>ハ<sup>ハ</sup>臺<sup>臺</sup>場<sup>場</sup>を<sup>を</sup>守<sup>守</sup>取<sup>取</sup>于<sup>于</sup>他<sup>他</sup>内<sup>内</sup>於<sup>於</sup>中<sup>中</sup>  
而<sup>而</sup>ハ<sup>ハ</sup>孫<sup>孫</sup>ハ<sup>ハ</sup>介<sup>介</sup>仰<sup>仰</sup>ス<sup>ス</sup>之<sup>之</sup>時<sup>時</sup>ハ<sup>ハ</sup>臨<sup>臨</sup>見<sup>見</sup>ハ<sup>ハ</sup>柔<sup>柔</sup>弱<sup>弱</sup>ハ<sup>ハ</sup>其<sup>其</sup>一<sup>一</sup>也<sup>也</sup>  
并<sup>并</sup>諸<sup>諸</sup>家<sup>家</sup>人<sup>人</sup>救<sup>救</sup>ハ<sup>ハ</sup>不<sup>不</sup>一<sup>一</sup>方<sup>方</sup>仰<sup>仰</sup>ス<sup>ス</sup>之<sup>之</sup>孫<sup>孫</sup>又<sup>又</sup>勇<sup>勇</sup>然<sup>然</sup>  
者<sup>者</sup>ハ<sup>ハ</sup>歩<sup>歩</sup>兵<sup>兵</sup>ハ<sup>ハ</sup>一<sup>一</sup>隊<sup>隊</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>水<sup>水</sup>戸<sup>戸</sup>表<sup>表</sup>中<sup>中</sup>を<sup>を</sup>又<sup>又</sup>擧<sup>擧</sup>揚<sup>揚</sup>取<sup>取</sup>惣<sup>惣</sup>勢<sup>勢</sup>  
多<sup>多</sup>シ<sup>シ</sup>知<sup>知</sup>是<sup>是</sup>近<sup>近</sup>仰<sup>仰</sup>ス<sup>ス</sup>に<sup>に</sup>形<sup>形</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>不<sup>不</sup>知<sup>知</sup>ス<sup>ス</sup>ハ<sup>ハ</sup>其<sup>其</sup>一<sup>一</sup>也<sup>也</sup>











尾崎あきゆき殿へ上封詰書

のまゝ

貴別方諸におもむい御座り候へども  
お取立申上申月十日迄受取らば  
いふ事一重なりぬる事候へども  
いふ事大いふ事

あきゆき

あきゆき

一 貴別方諸におもむい御座り候へども  
お取立申上申月十日迄受取らば  
いふ事一重なりぬる事候へども  
いふ事大いふ事

一 貴別方諸におもむい御座り候へども  
お取立申上申月十日迄受取らば  
いふ事一重なりぬる事候へども  
いふ事大いふ事

一 貴別方諸におもむい御座り候へども  
お取立申上申月十日迄受取らば  
いふ事一重なりぬる事候へども  
いふ事大いふ事

一 貴別方諸におもむい御座り候へども  
お取立申上申月十日迄受取らば  
いふ事一重なりぬる事候へども  
いふ事大いふ事

一 貴別方諸におもむい御座り候へども  
お取立申上申月十日迄受取らば  
いふ事一重なりぬる事候へども  
いふ事大いふ事

一 貴別方諸におもむい御座り候へども  
お取立申上申月十日迄受取らば  
いふ事一重なりぬる事候へども  
いふ事大いふ事

あきゆき

甲子年一月初五日  
尾崎あきゆき殿へ上封詰書  
あきゆき



















閏五月廿三日 曉七半時御退出

今上御所篤二條殿下於以テ

大樹之直御編首之由詔之字

朕召長門父子而不至則伐之

朕欲長門父子與汝亂之而無辭則誅之

朕欲召群藩汝滯京洛

依于新衆言之而期誅伐則之善(原書)一平撰汝

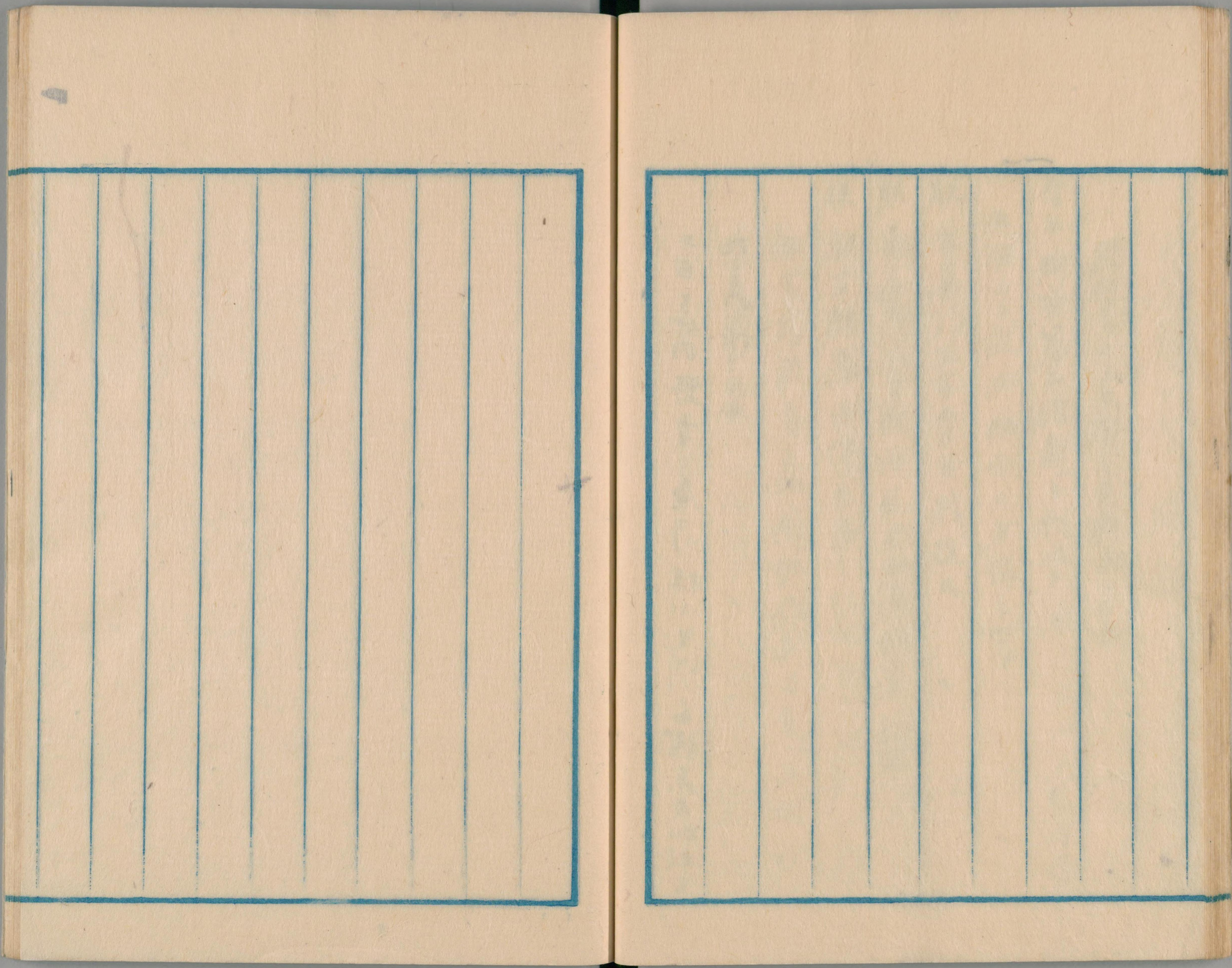
退而以三省

二百とせの野者も庵乃娘小生川 今代末るかれと  
たみの栴一々





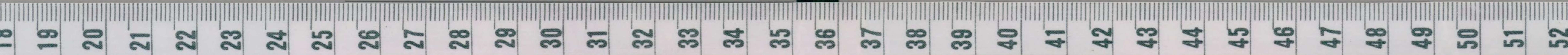
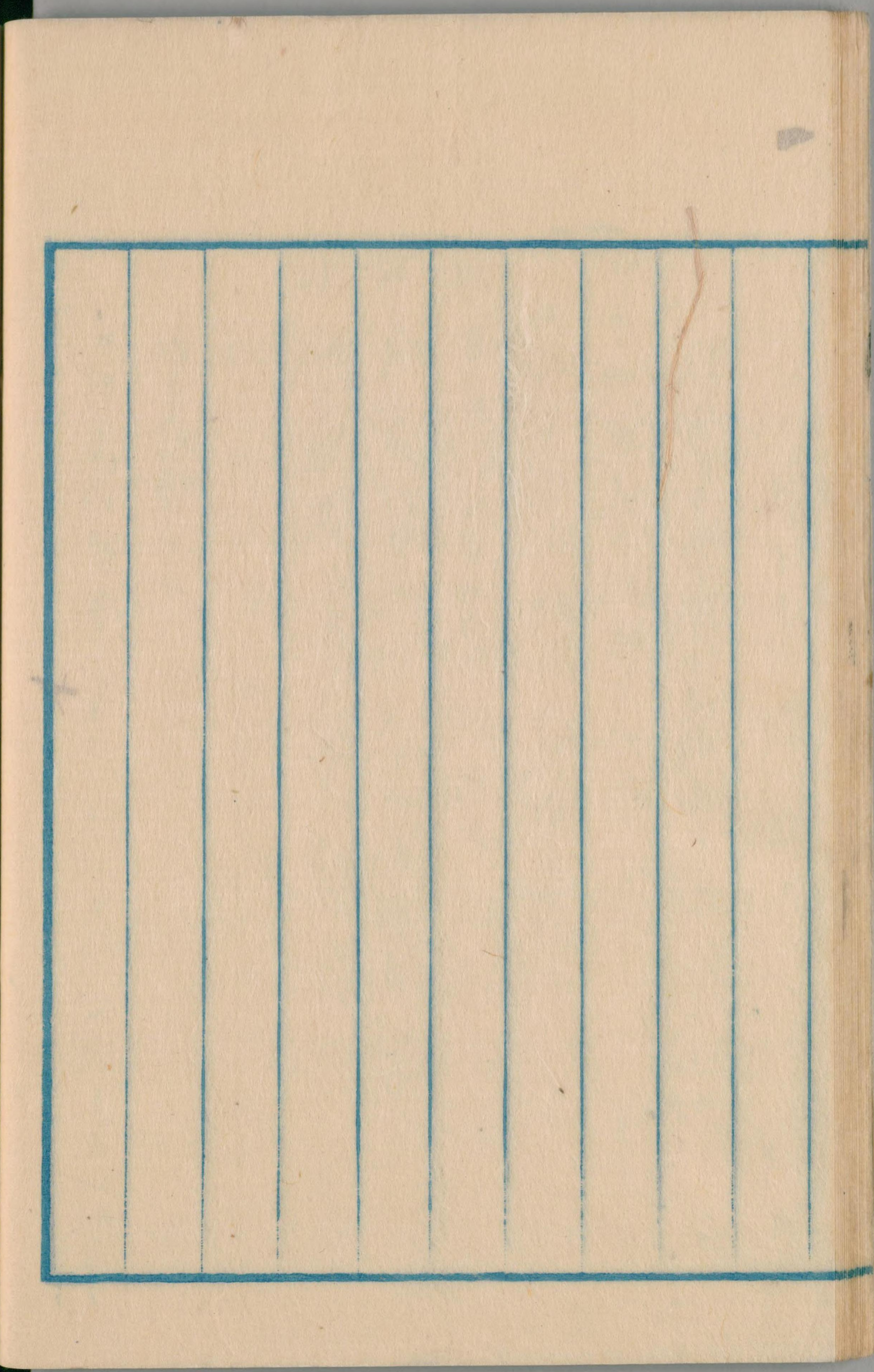
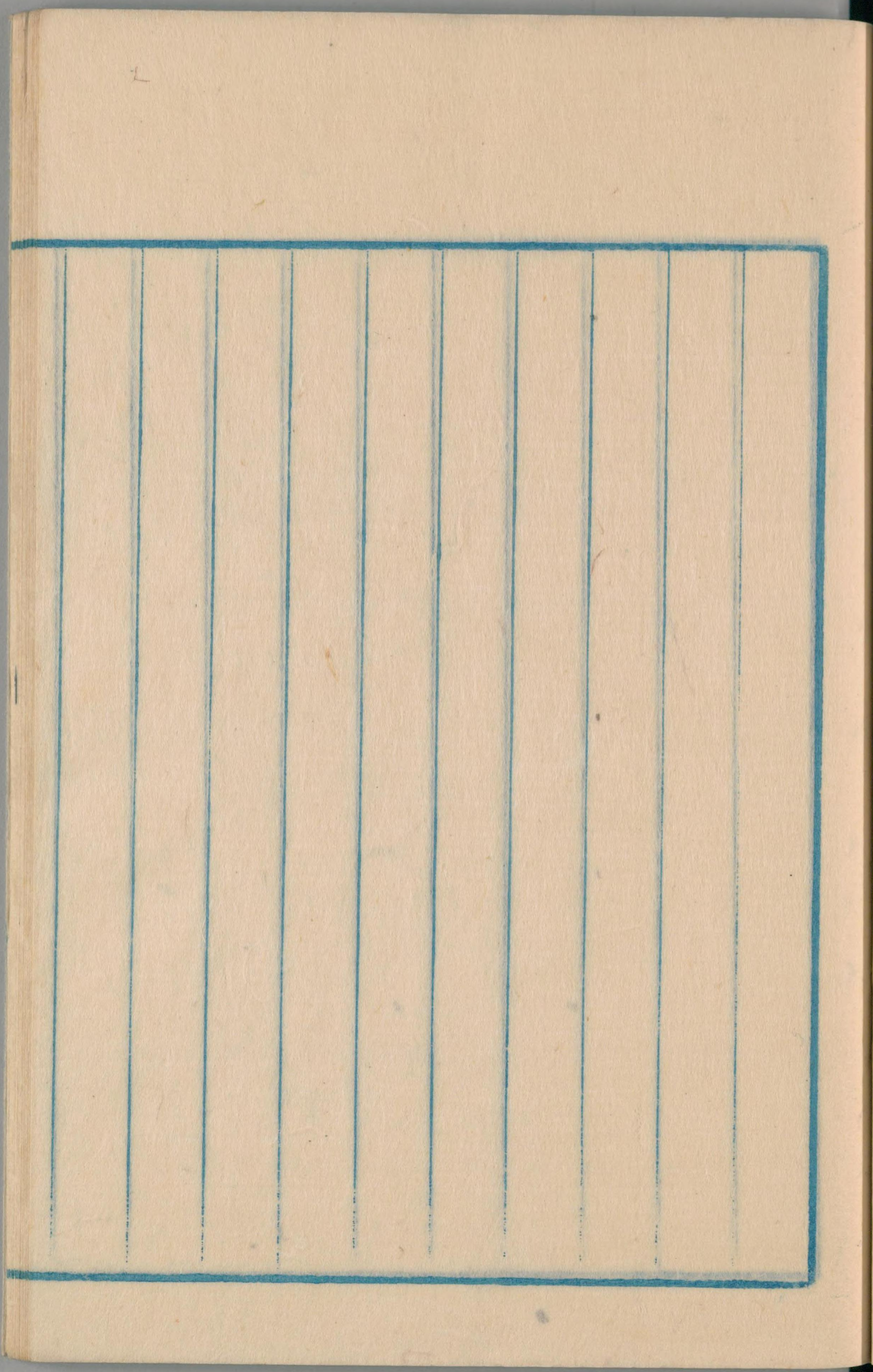




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

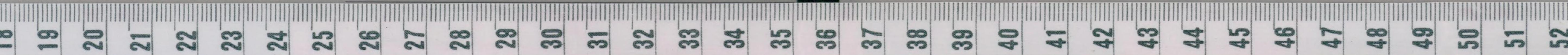
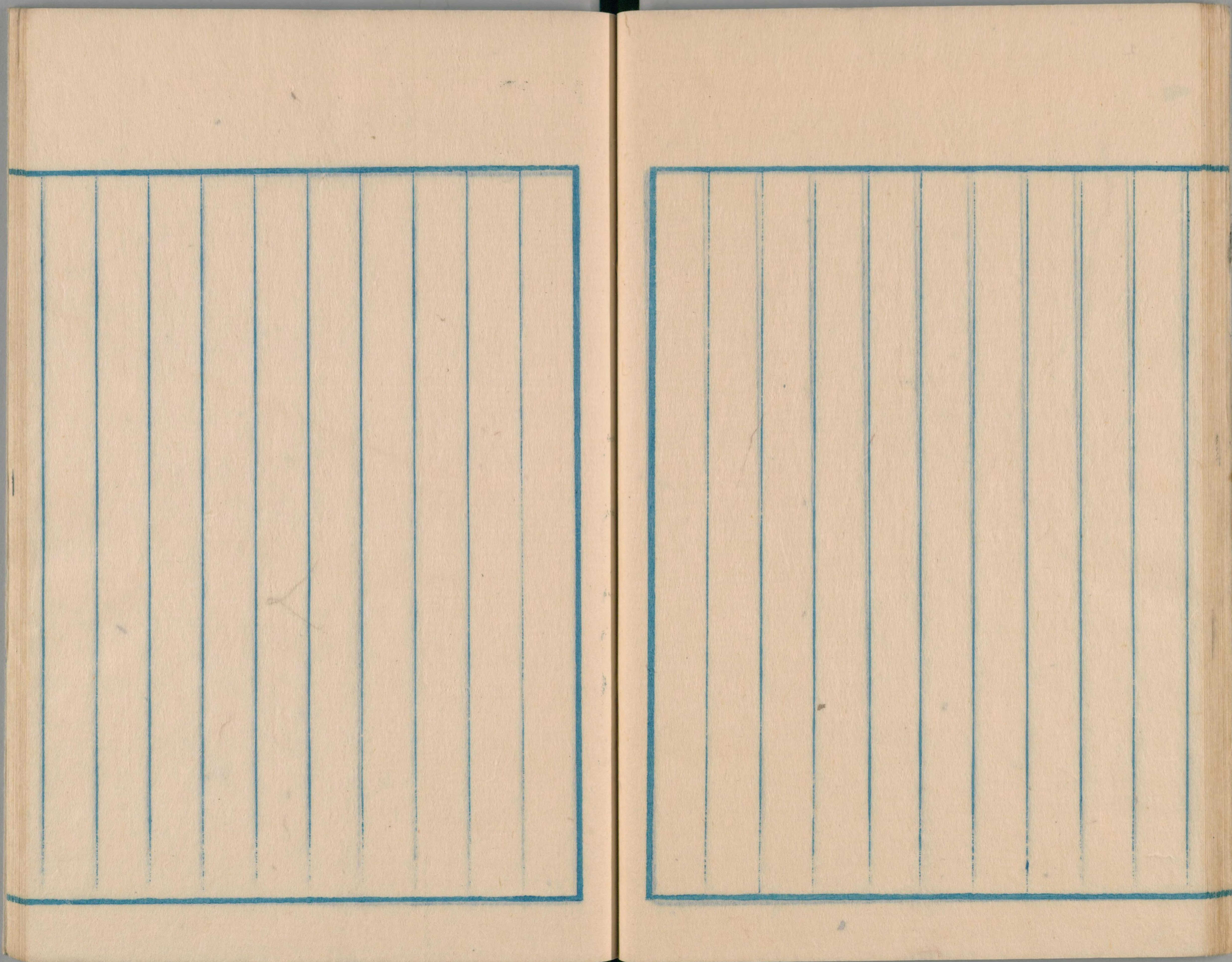




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

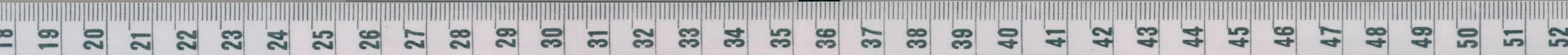
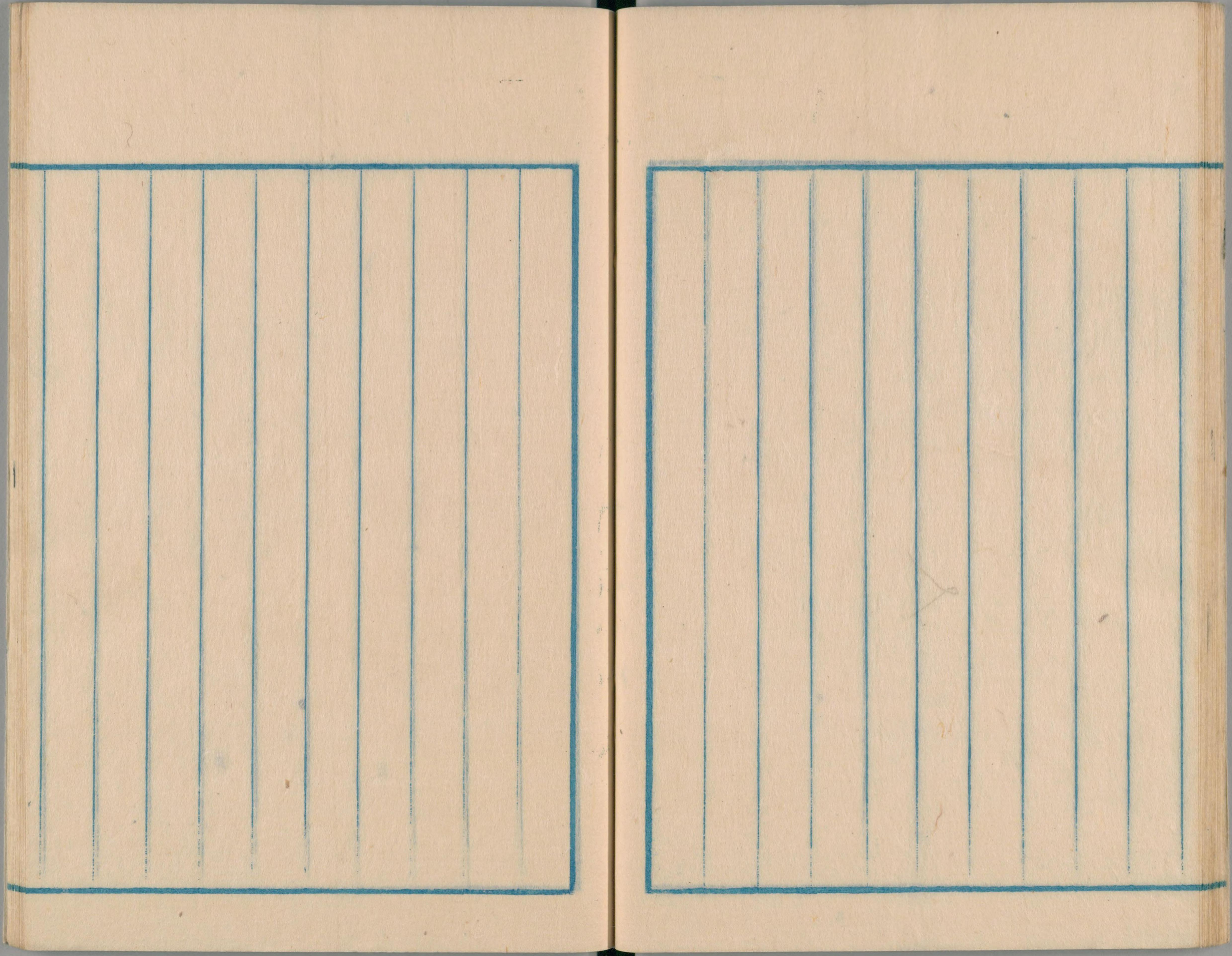




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

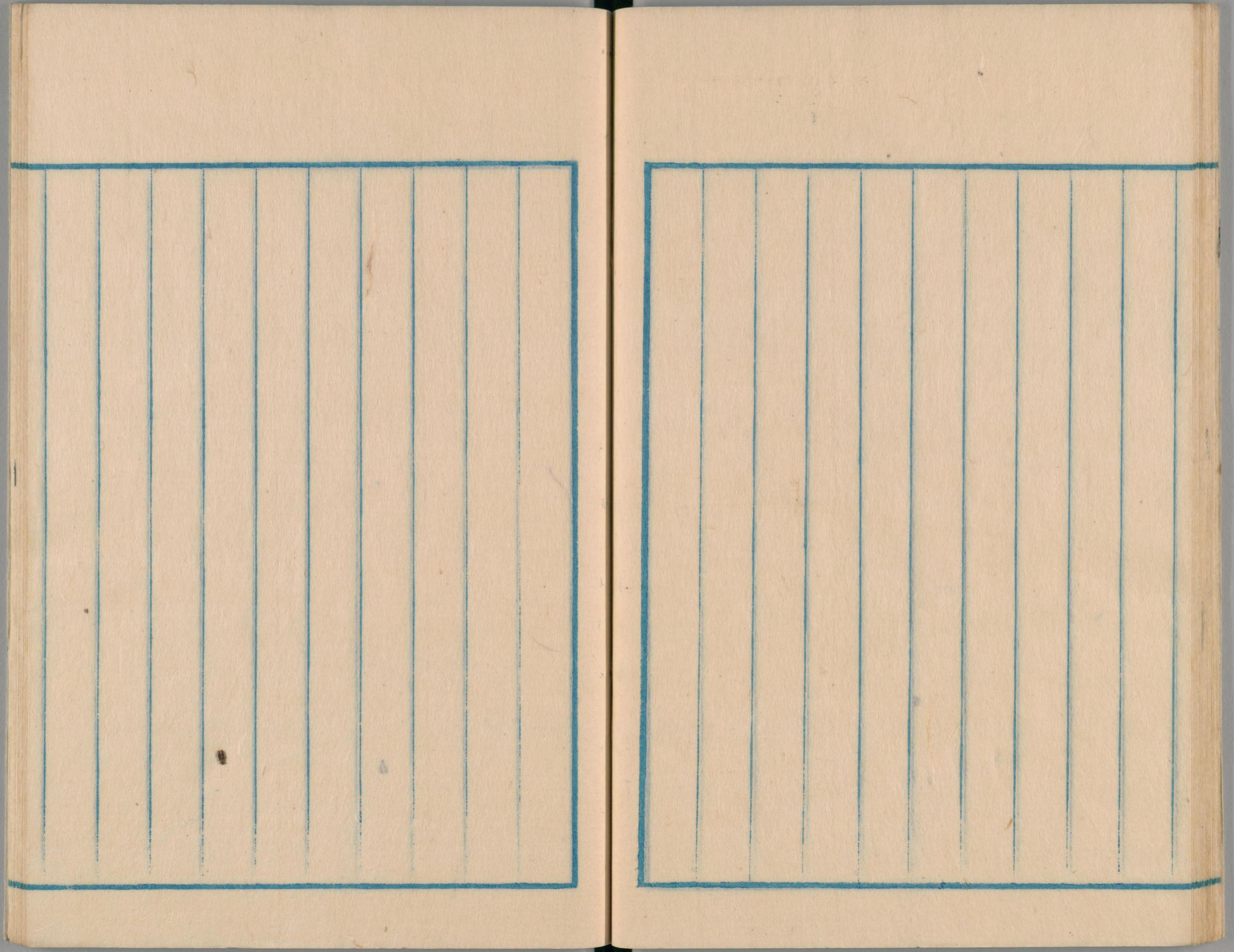




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

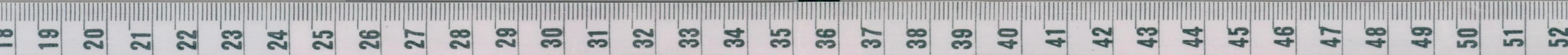
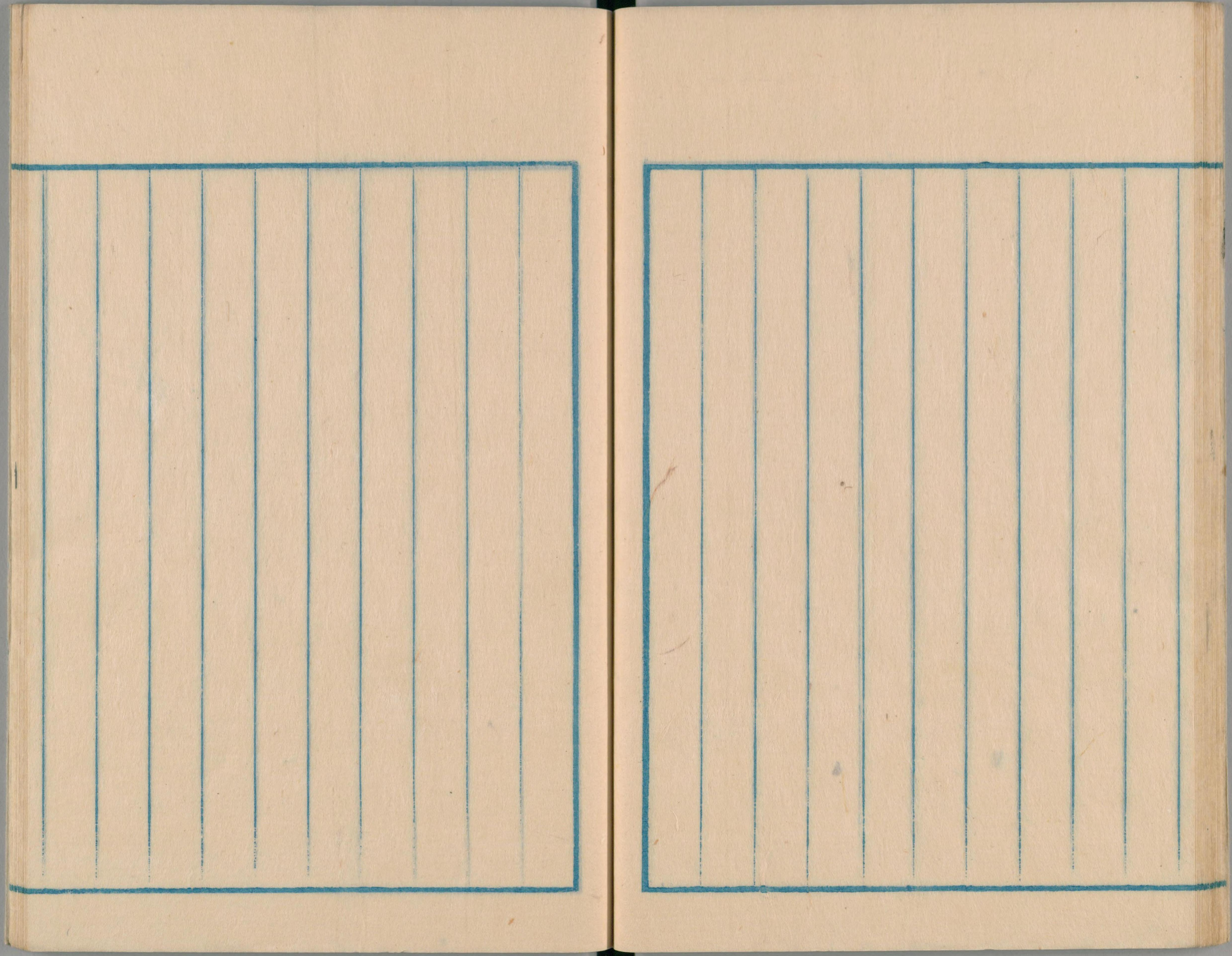




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

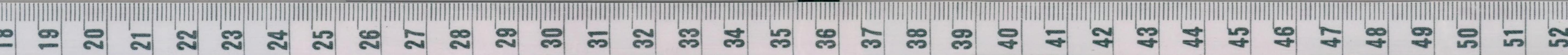
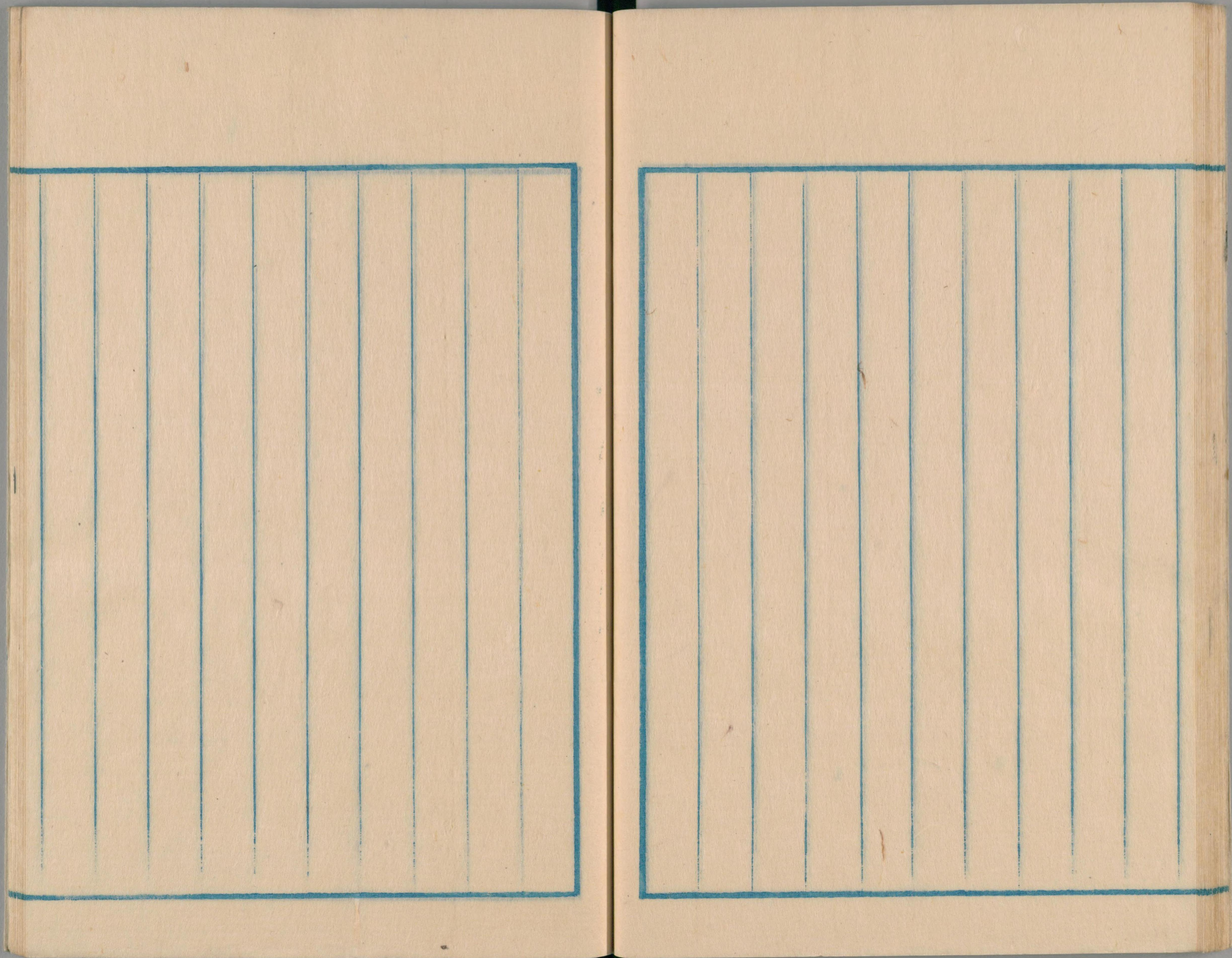




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

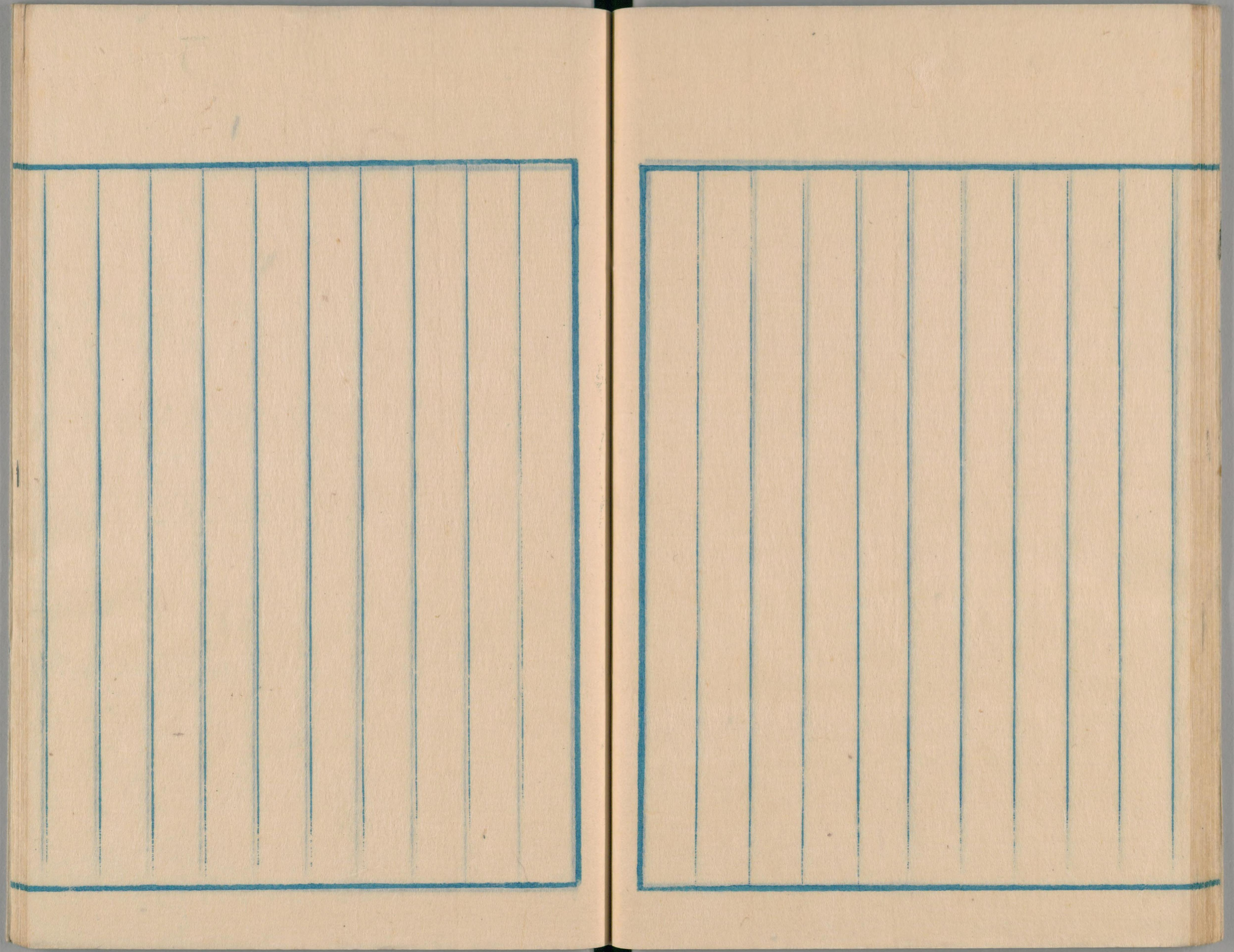




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

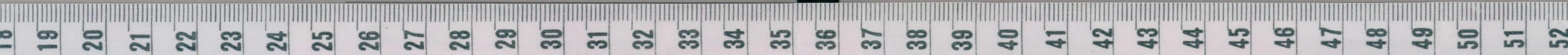
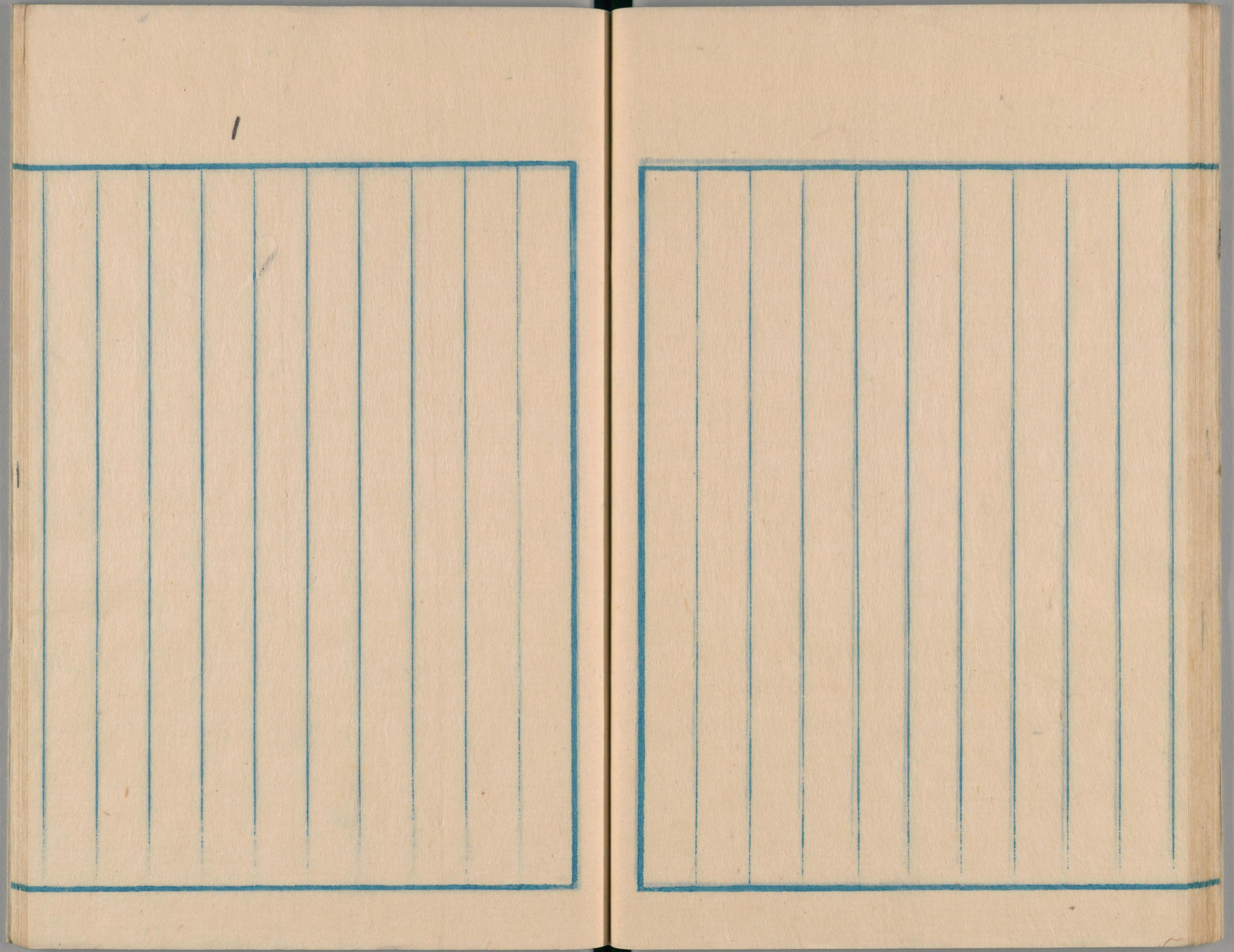




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

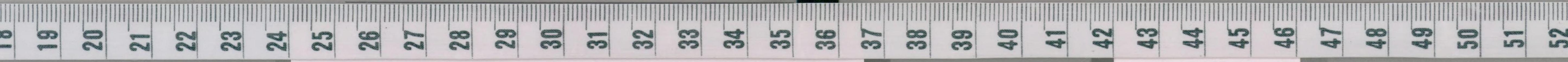
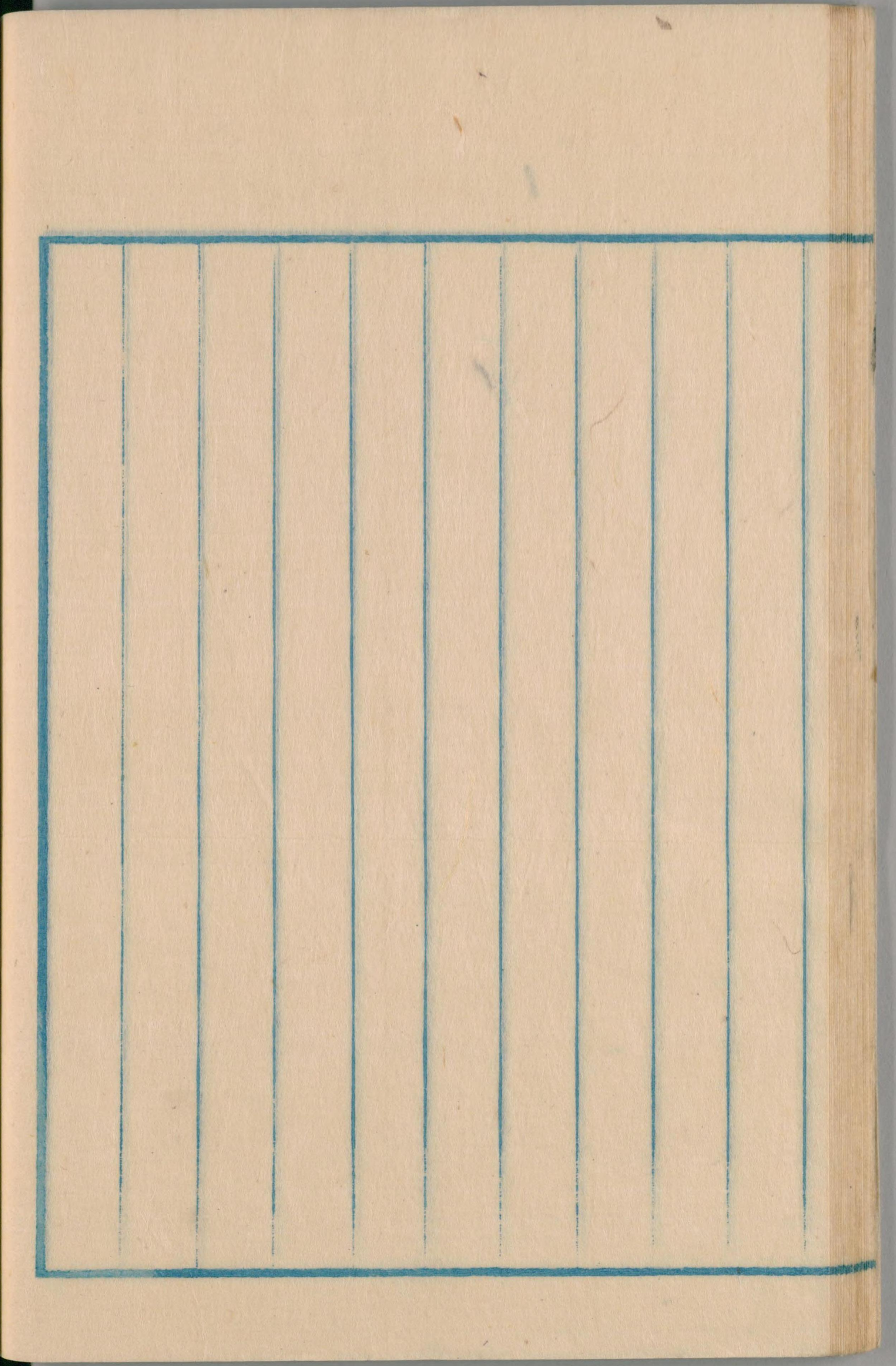
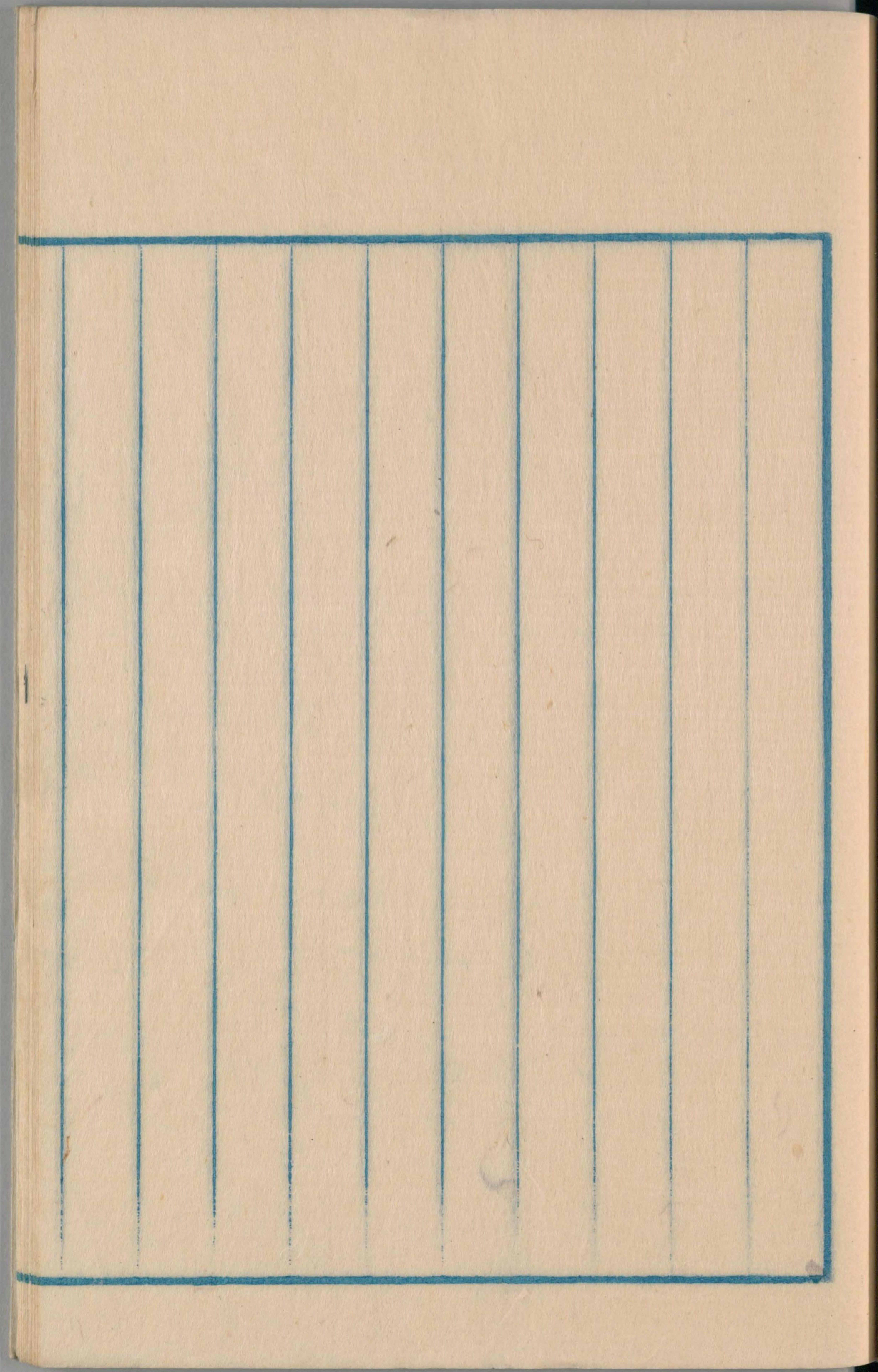




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

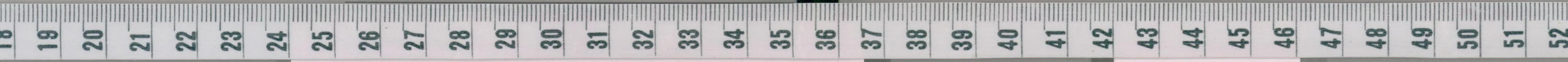
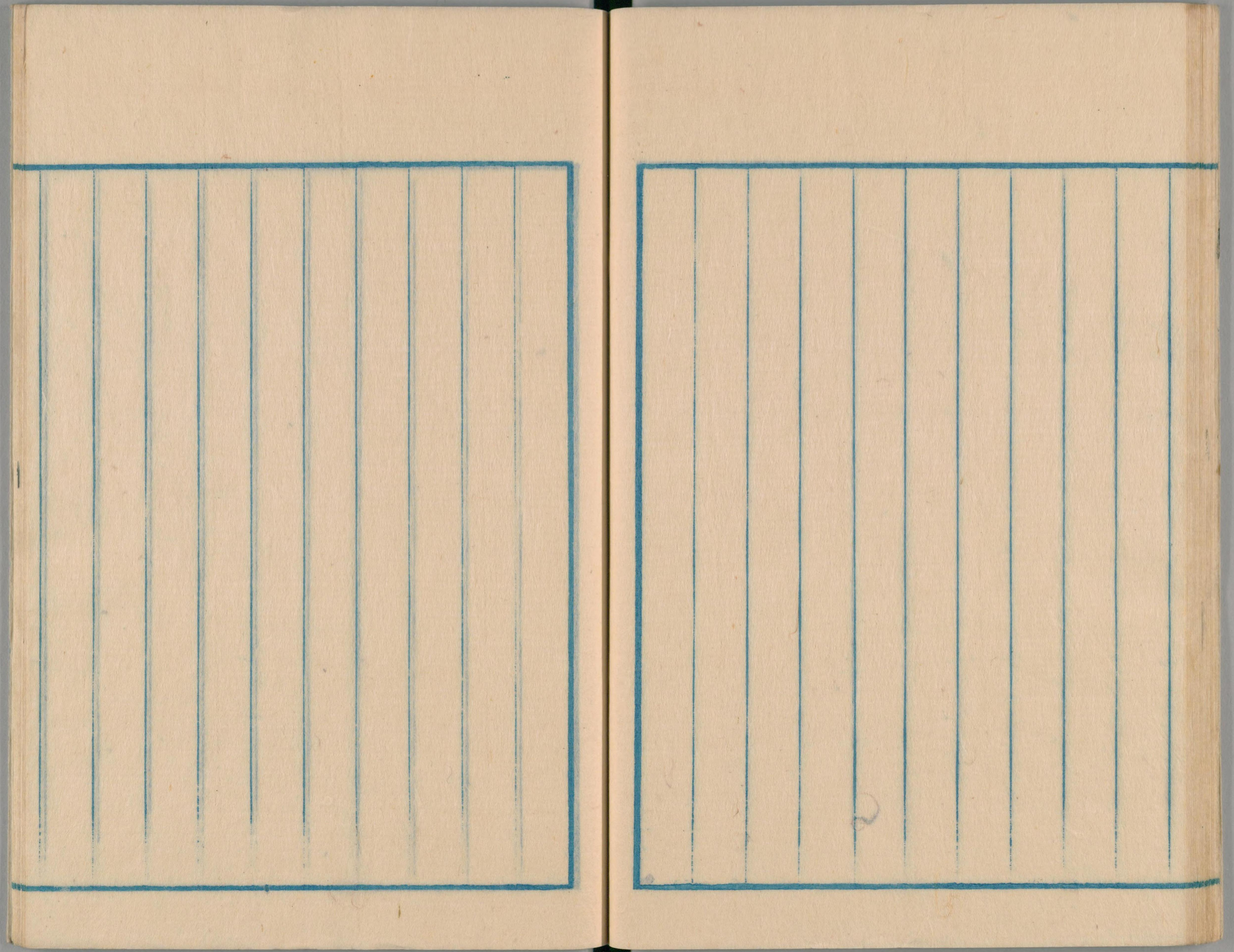




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

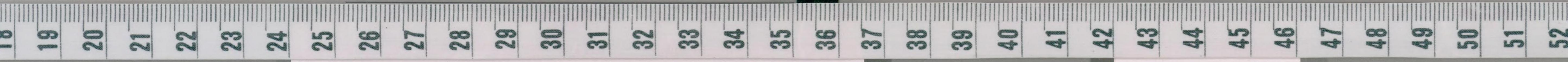
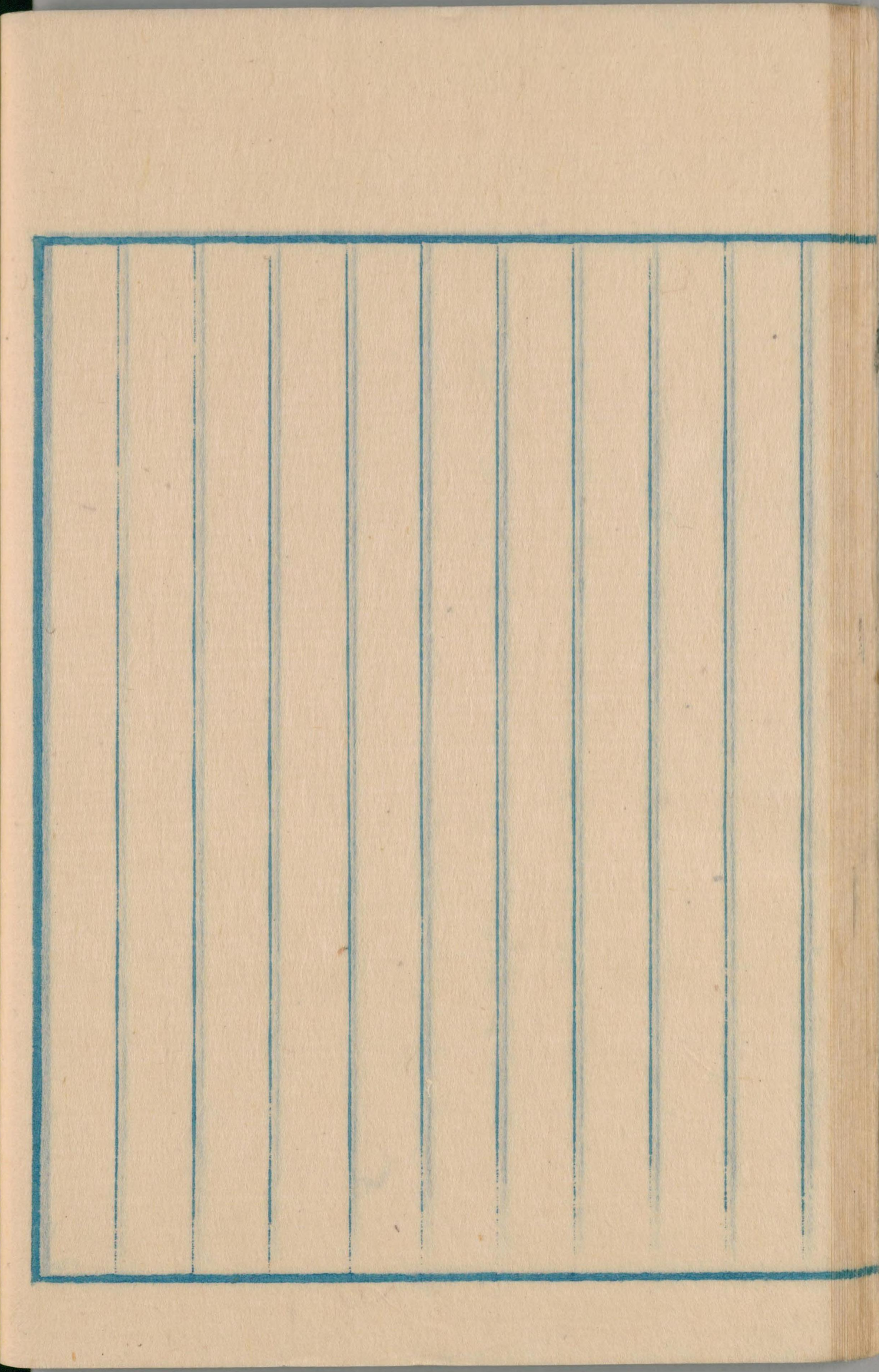
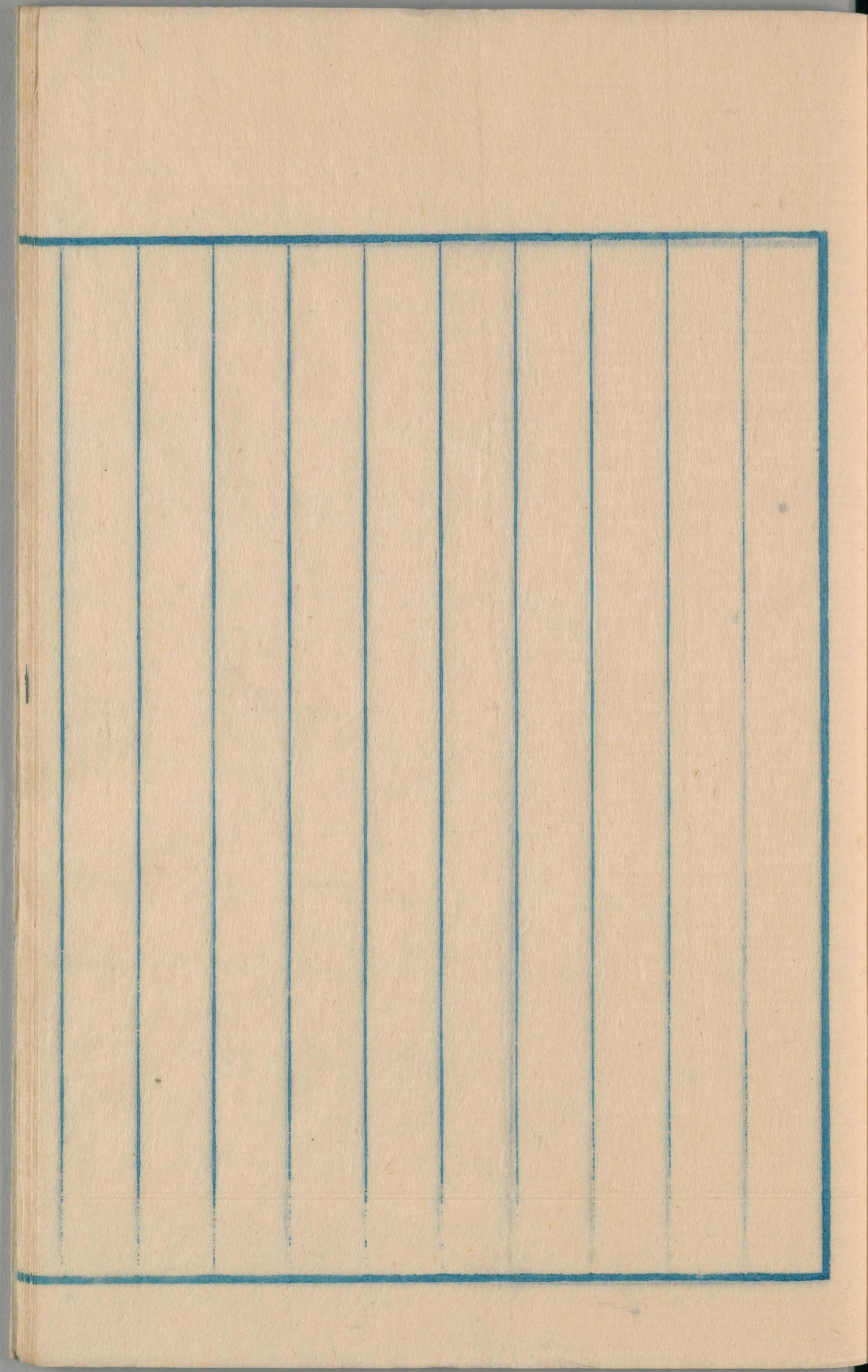




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

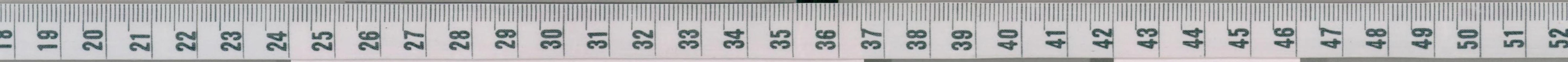
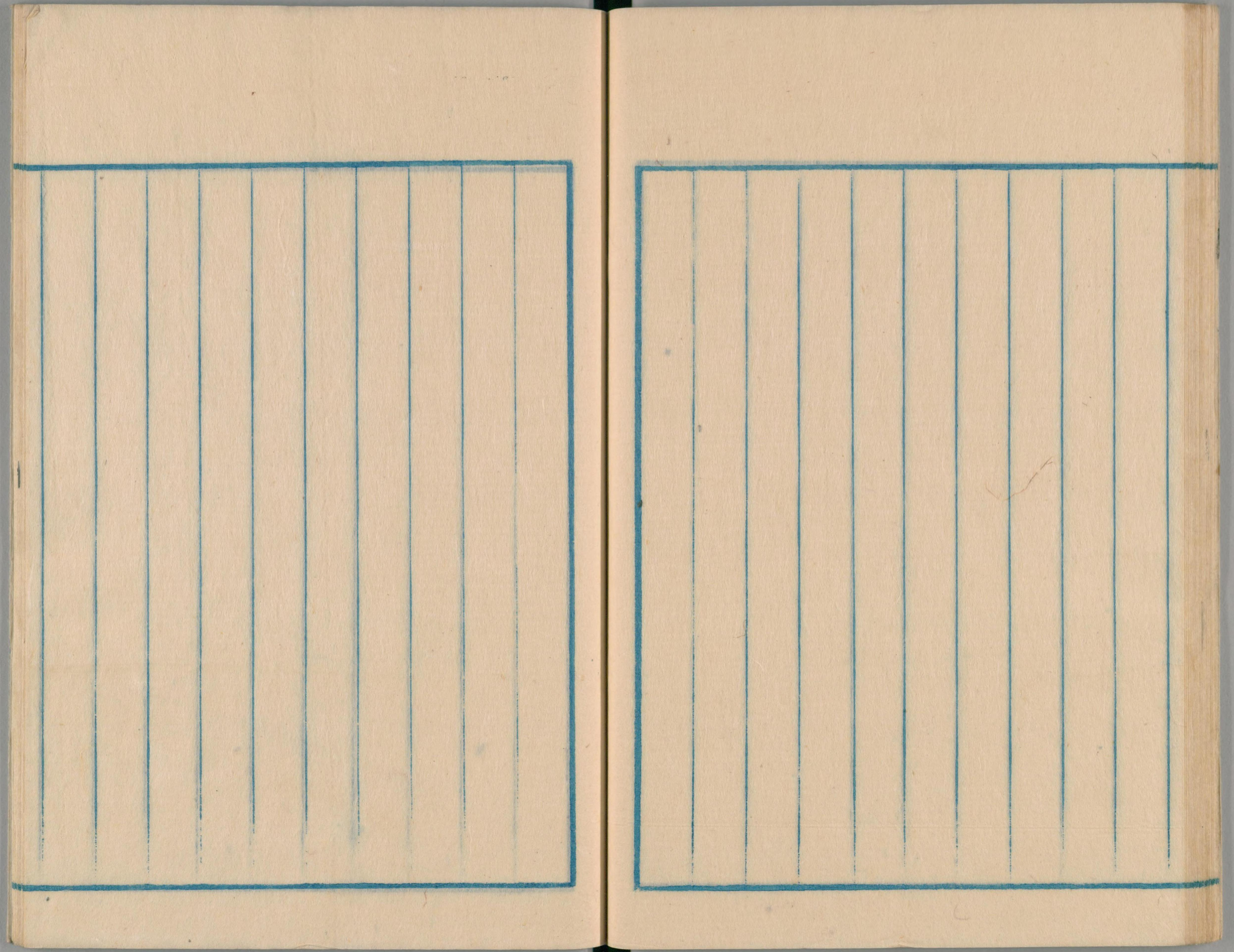




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

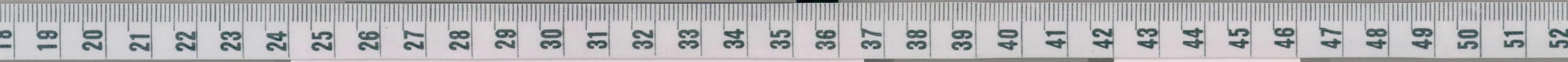
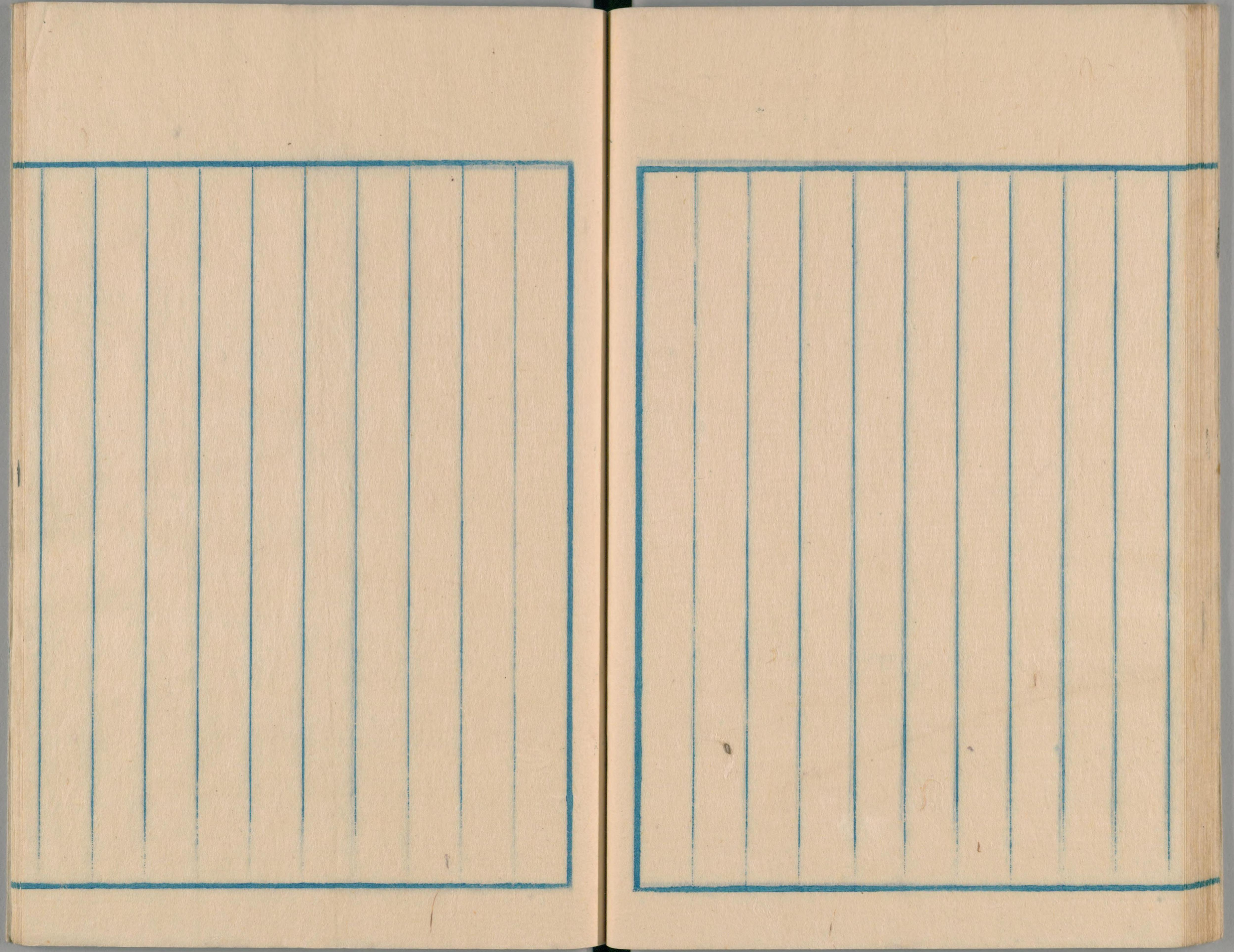




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

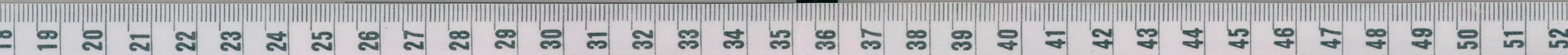
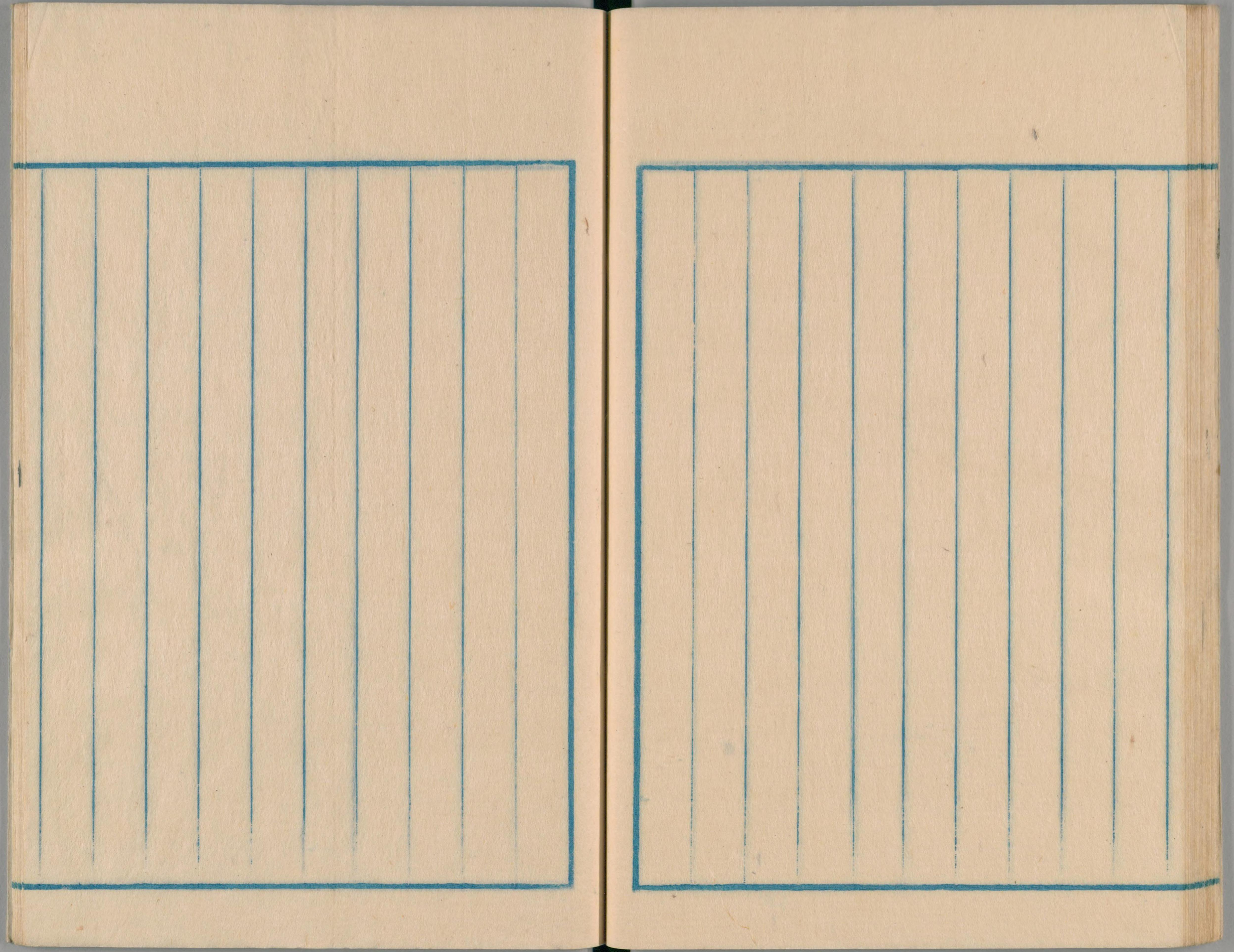




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

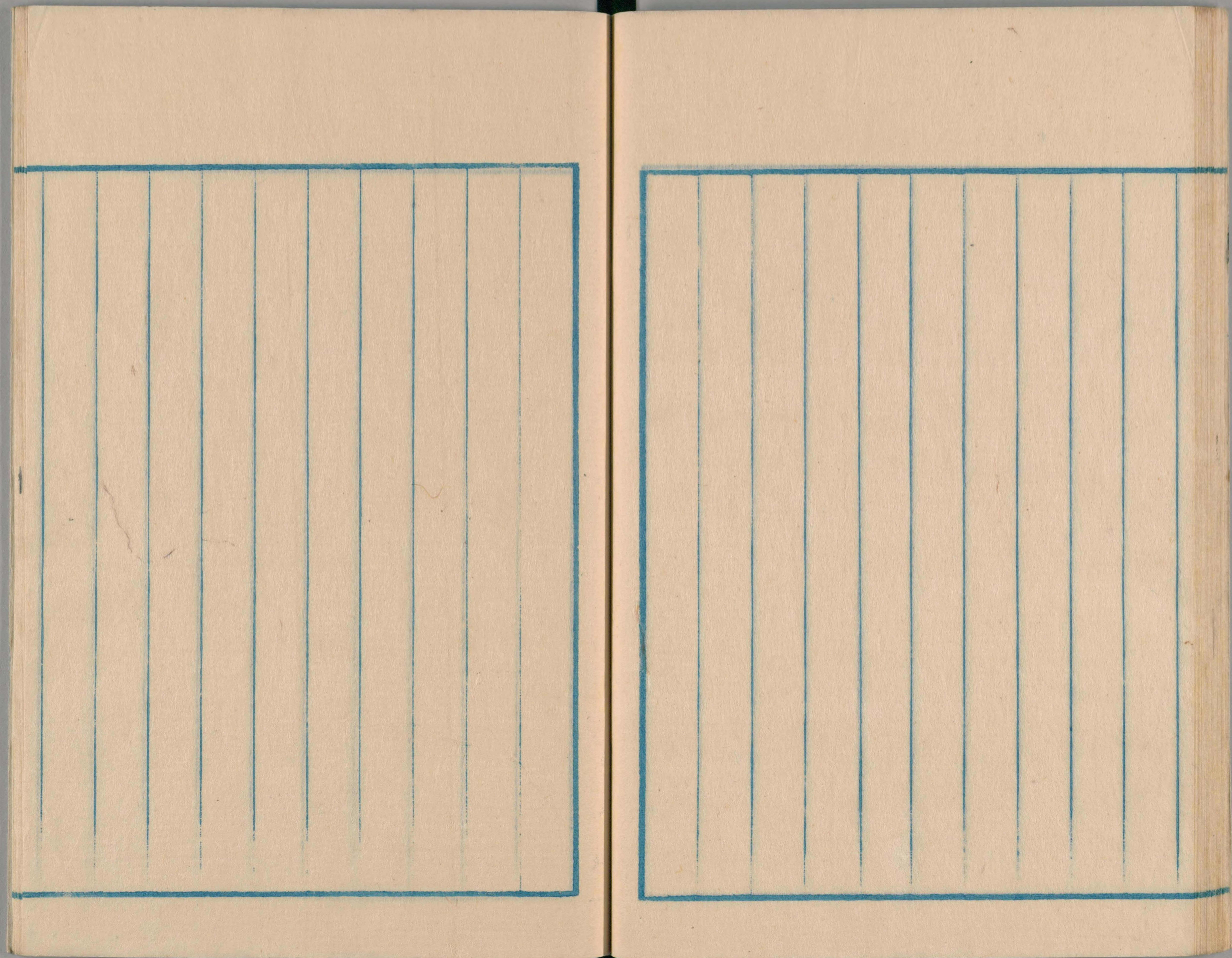




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

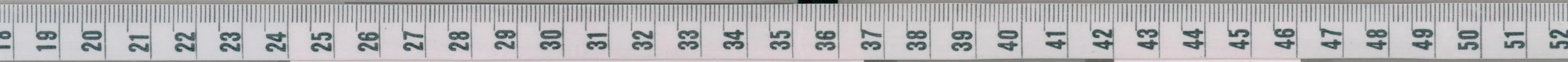
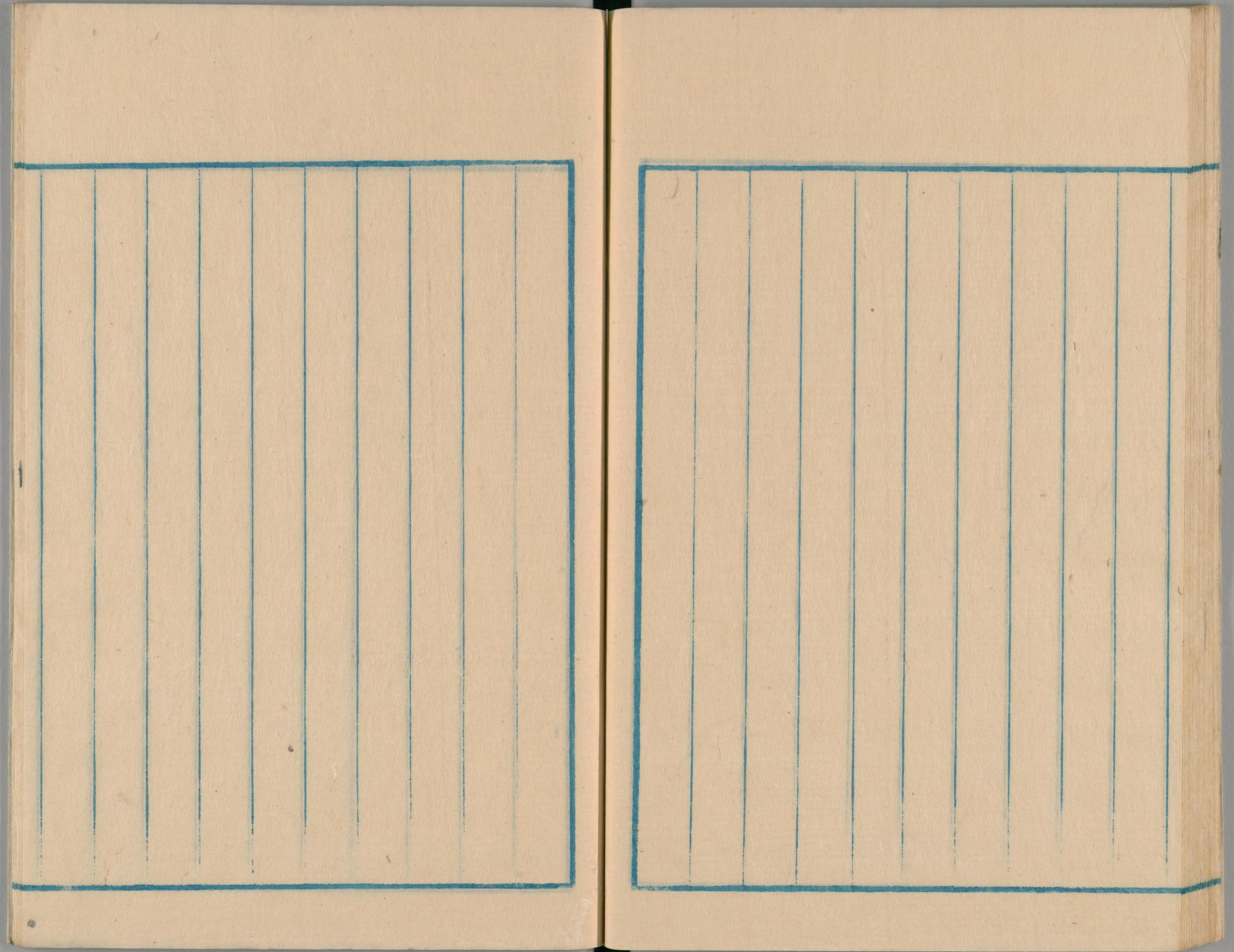




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

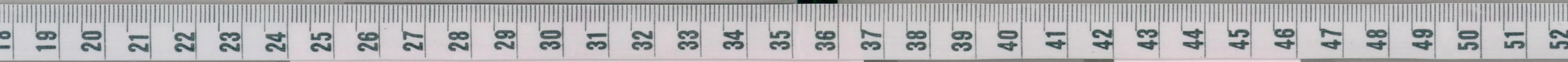
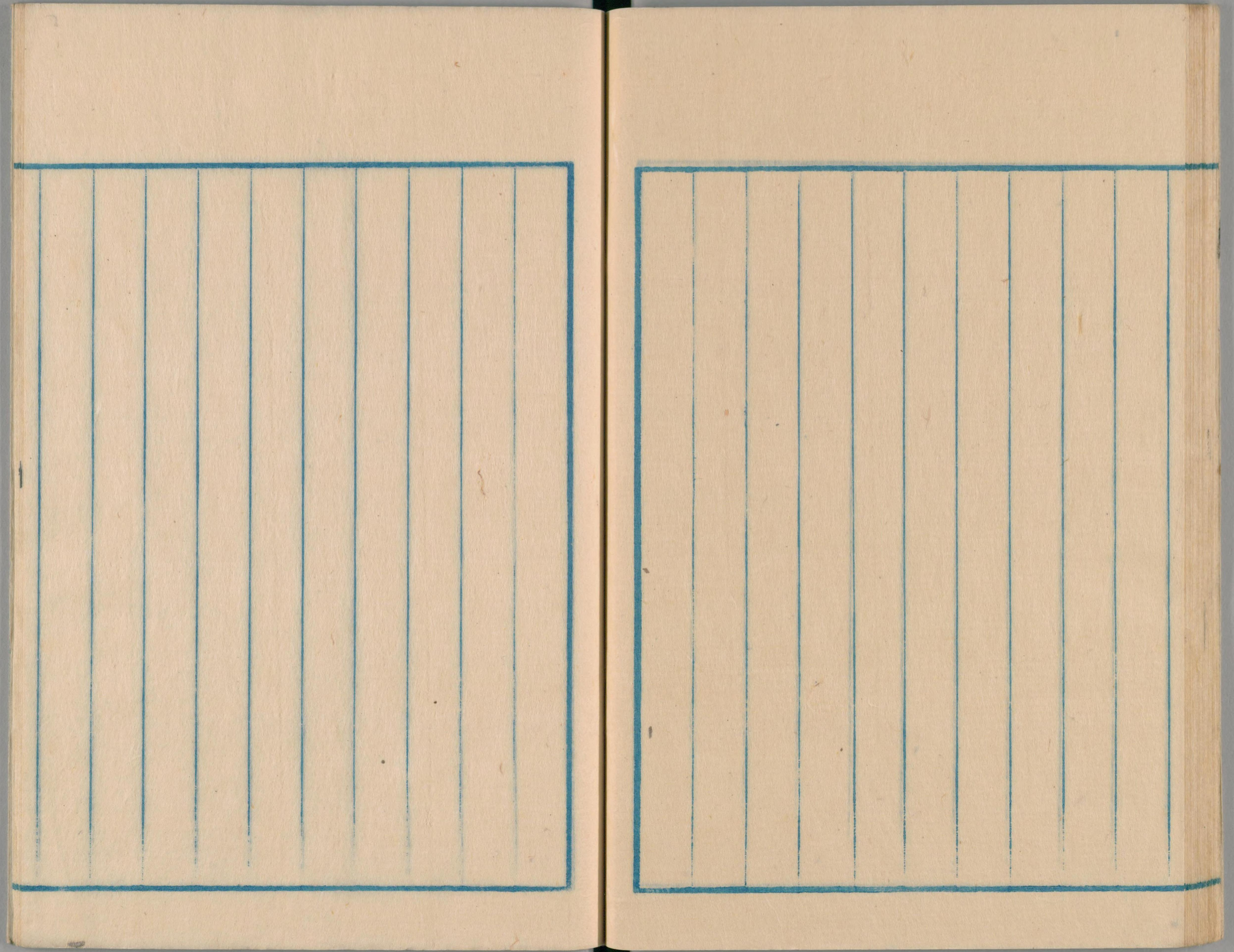




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

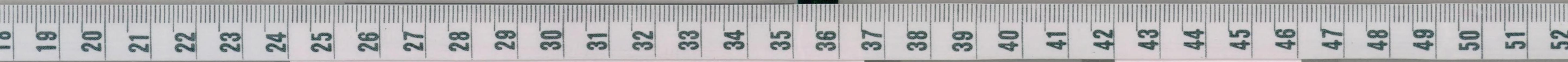
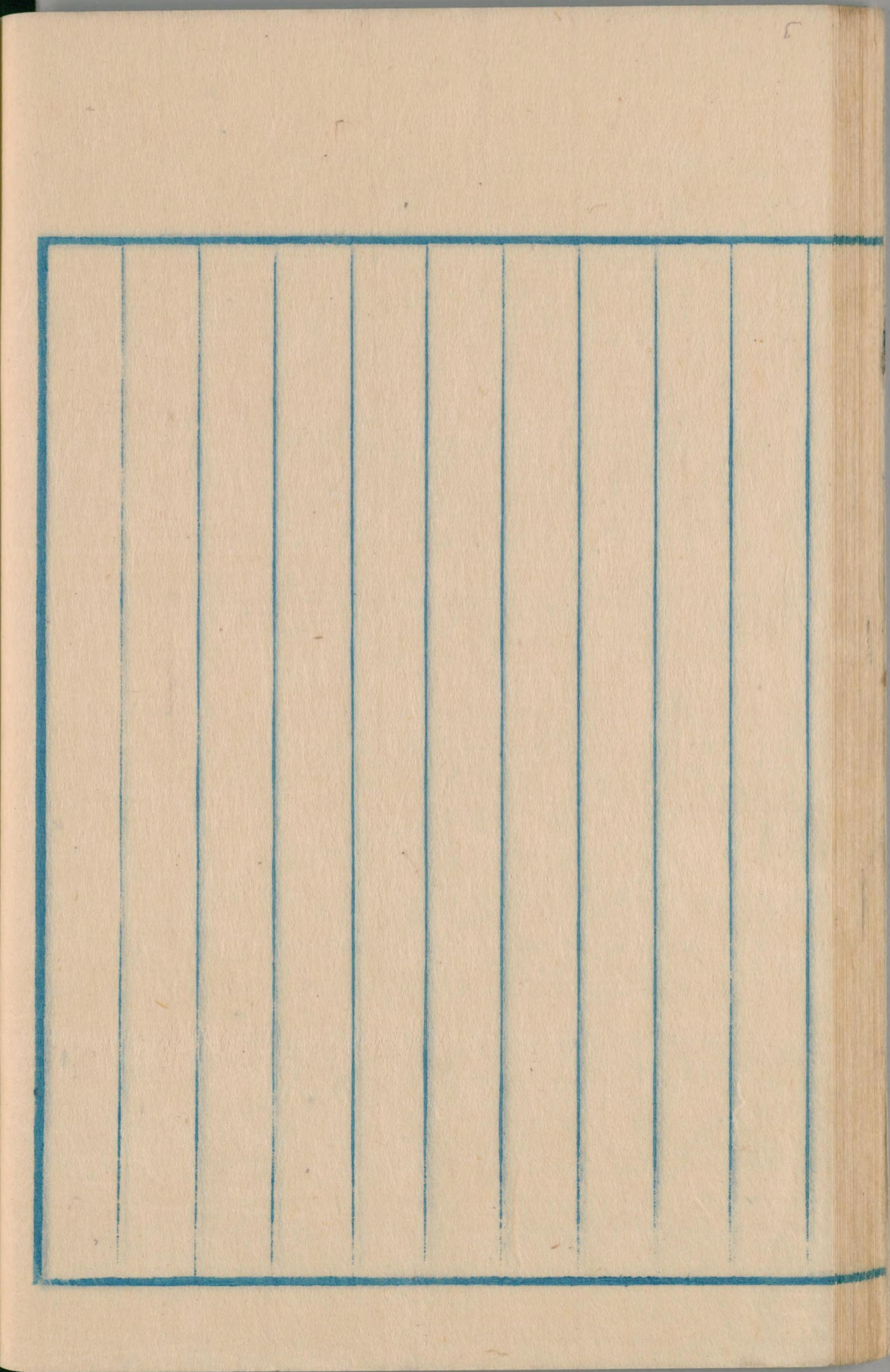
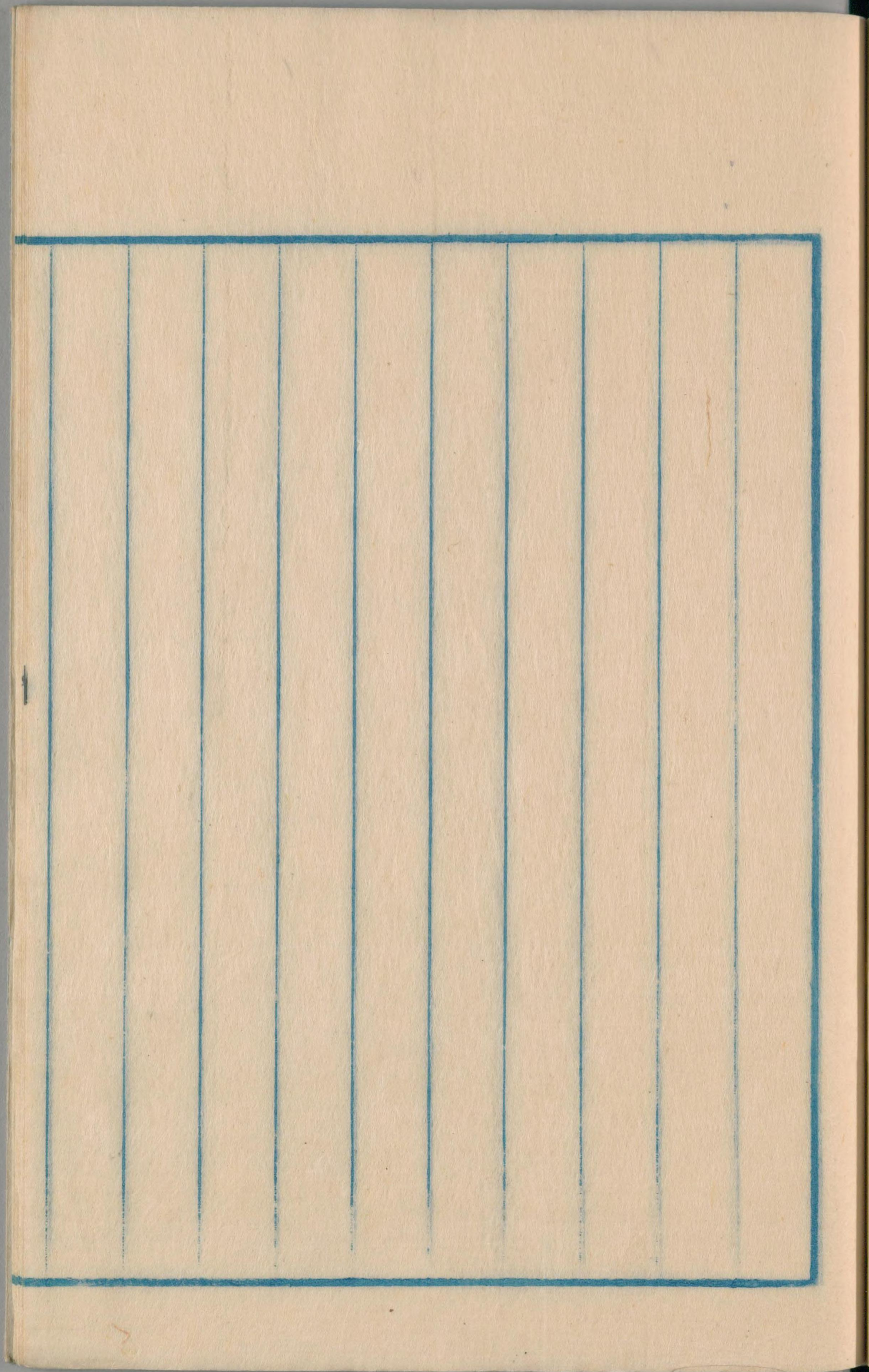




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

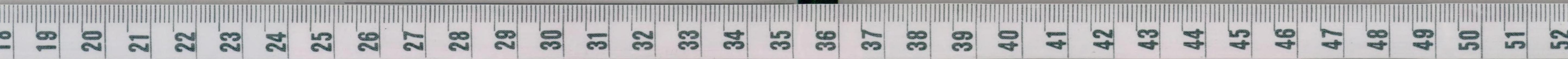
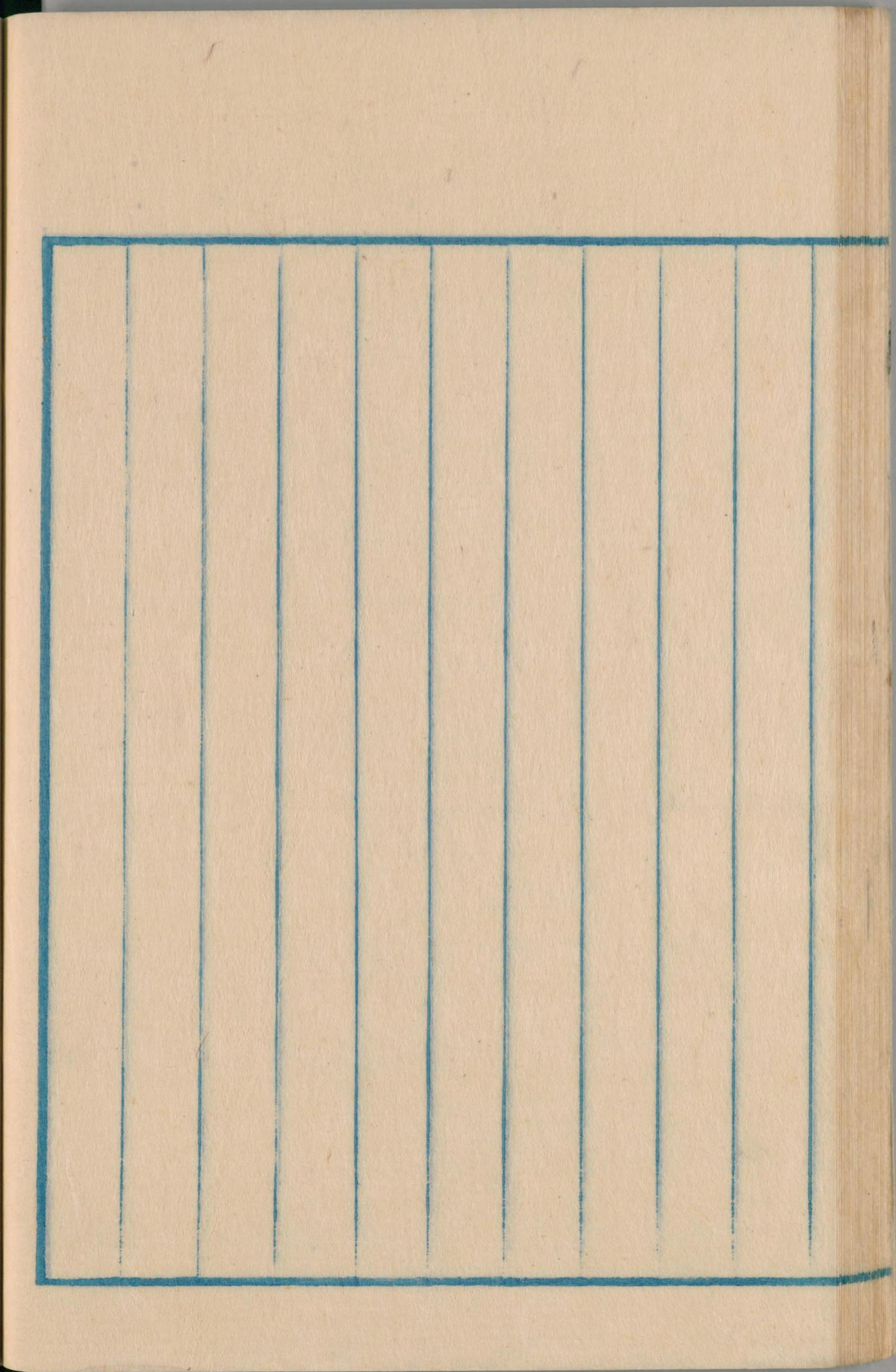
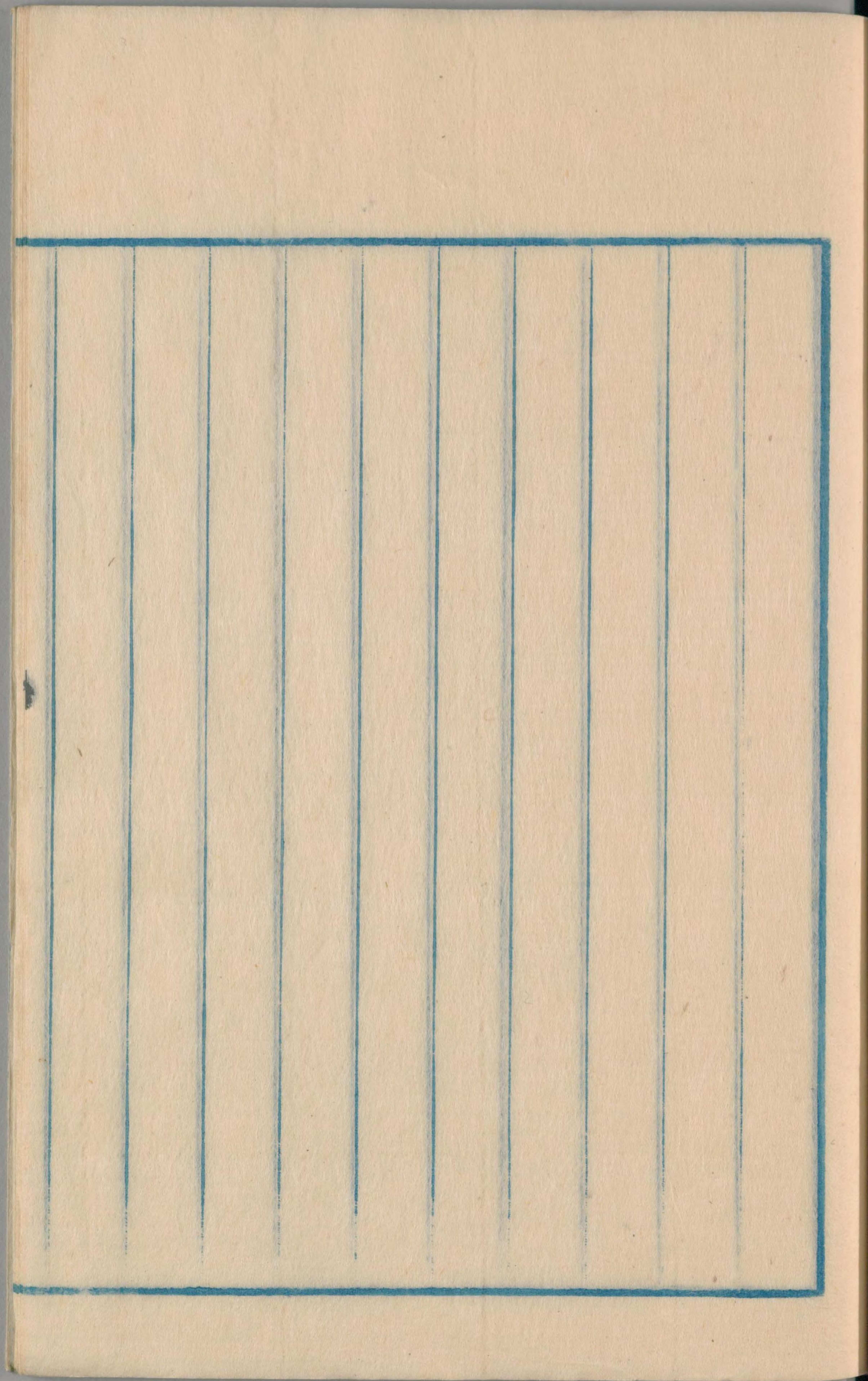




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

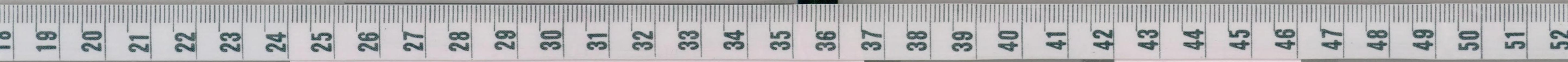
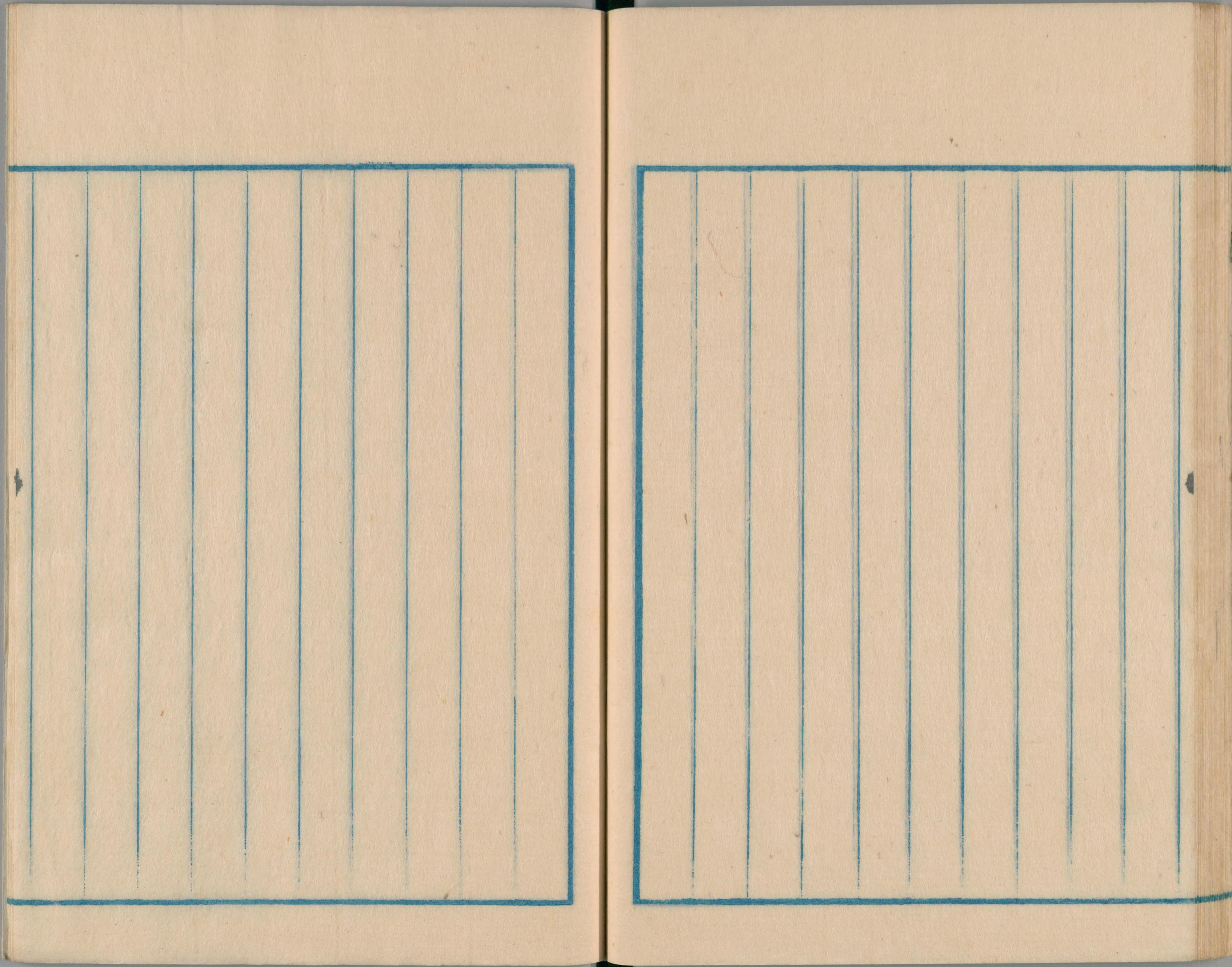




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

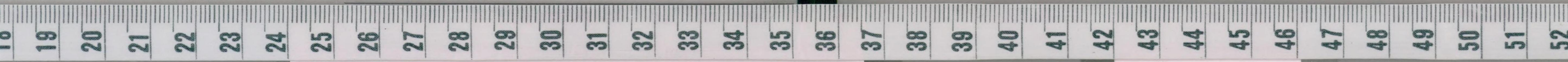
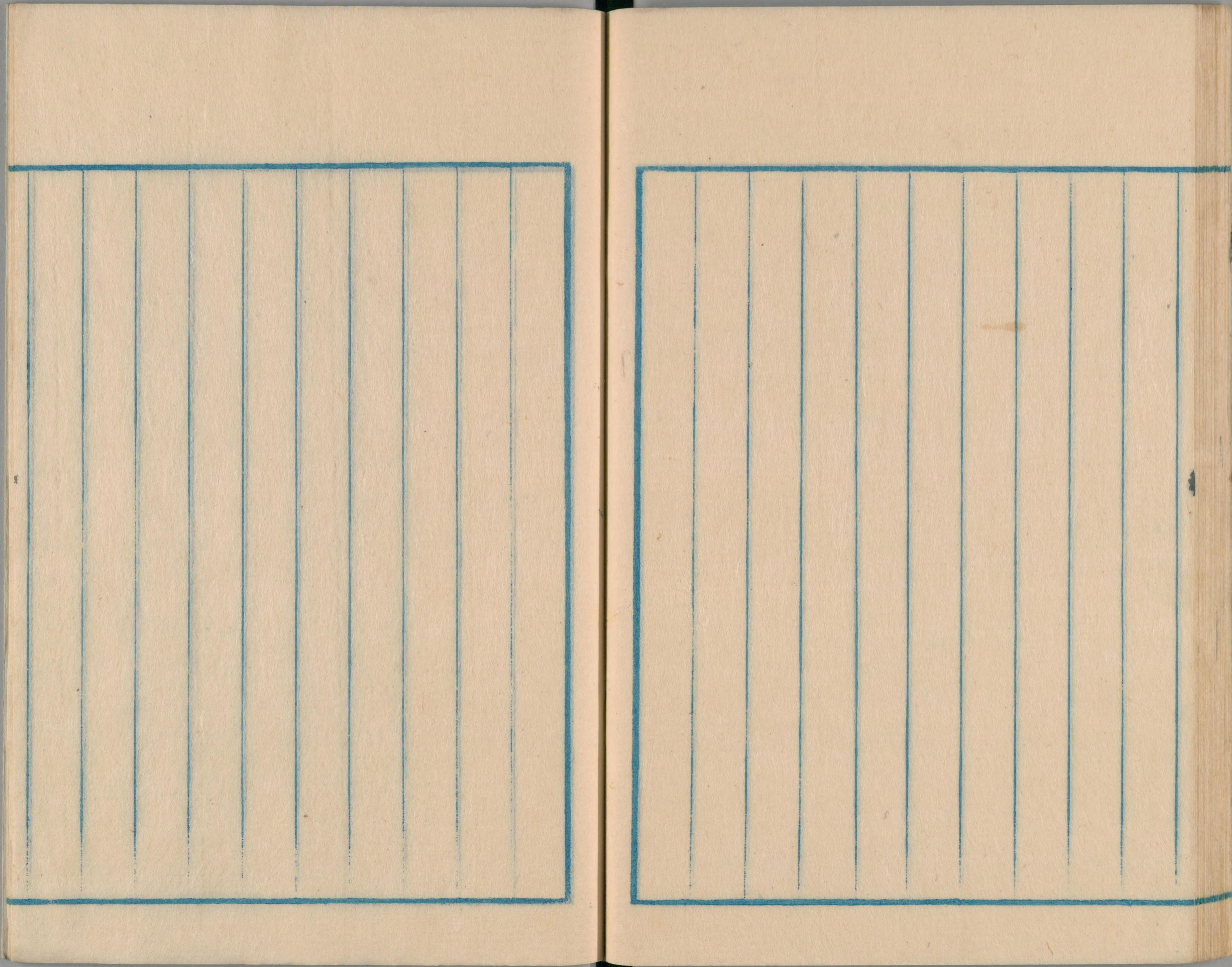




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

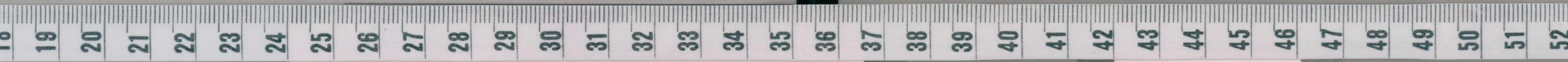
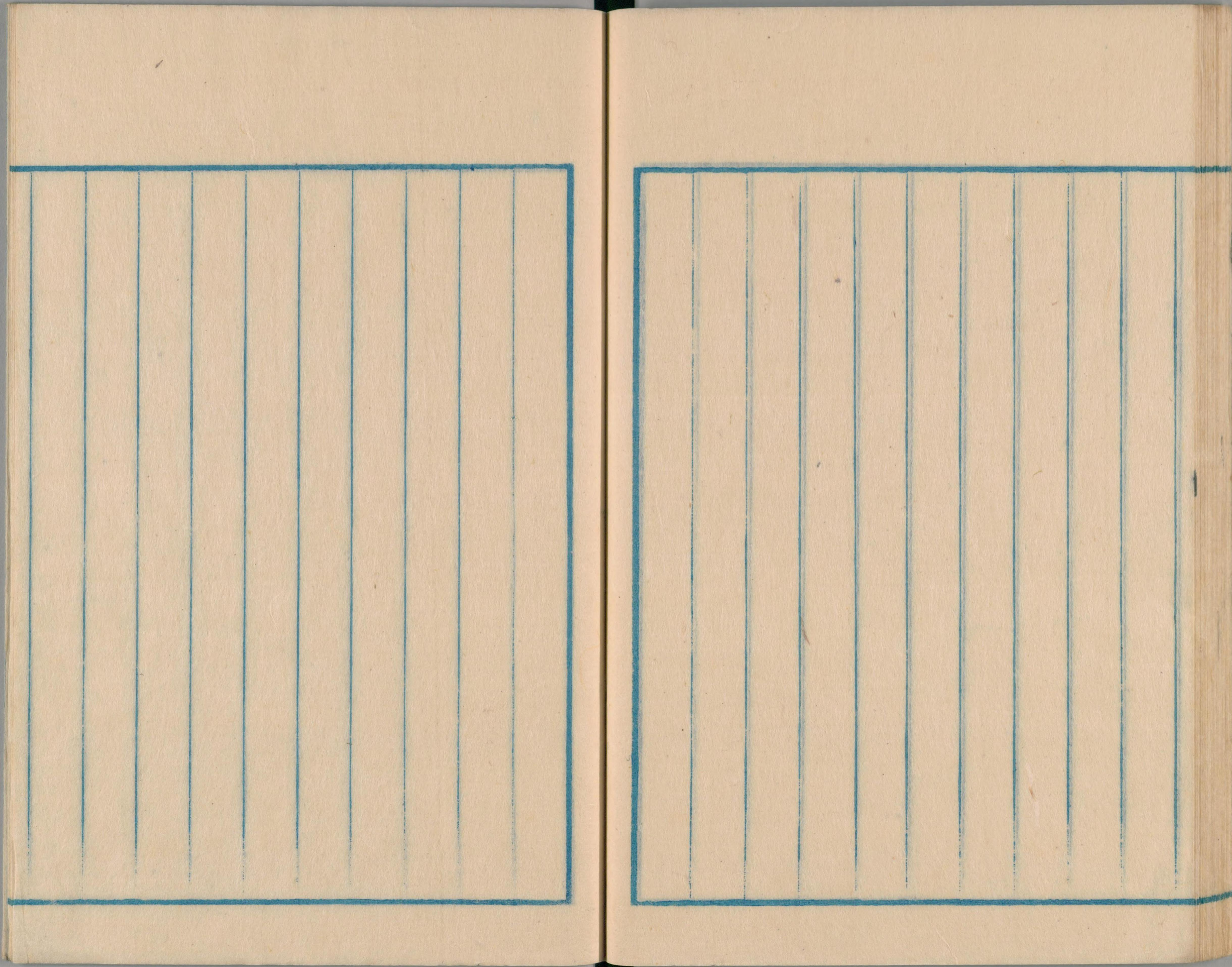




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

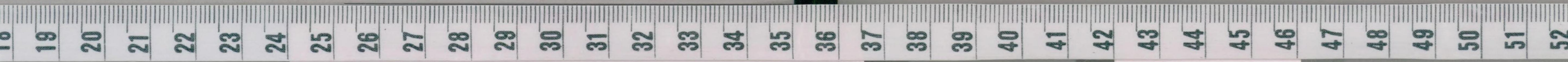
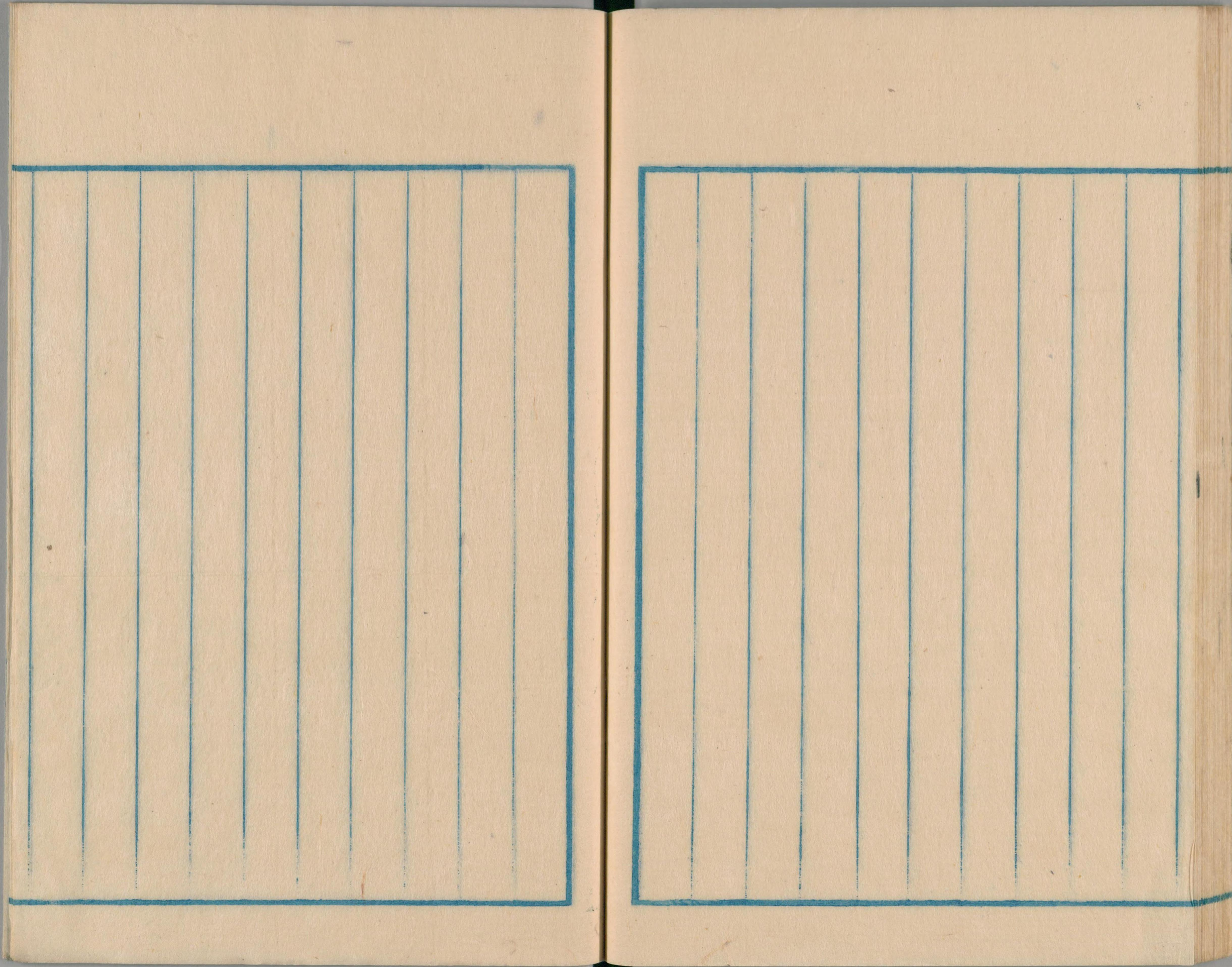




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用





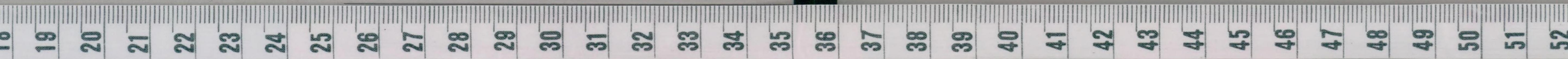
国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用





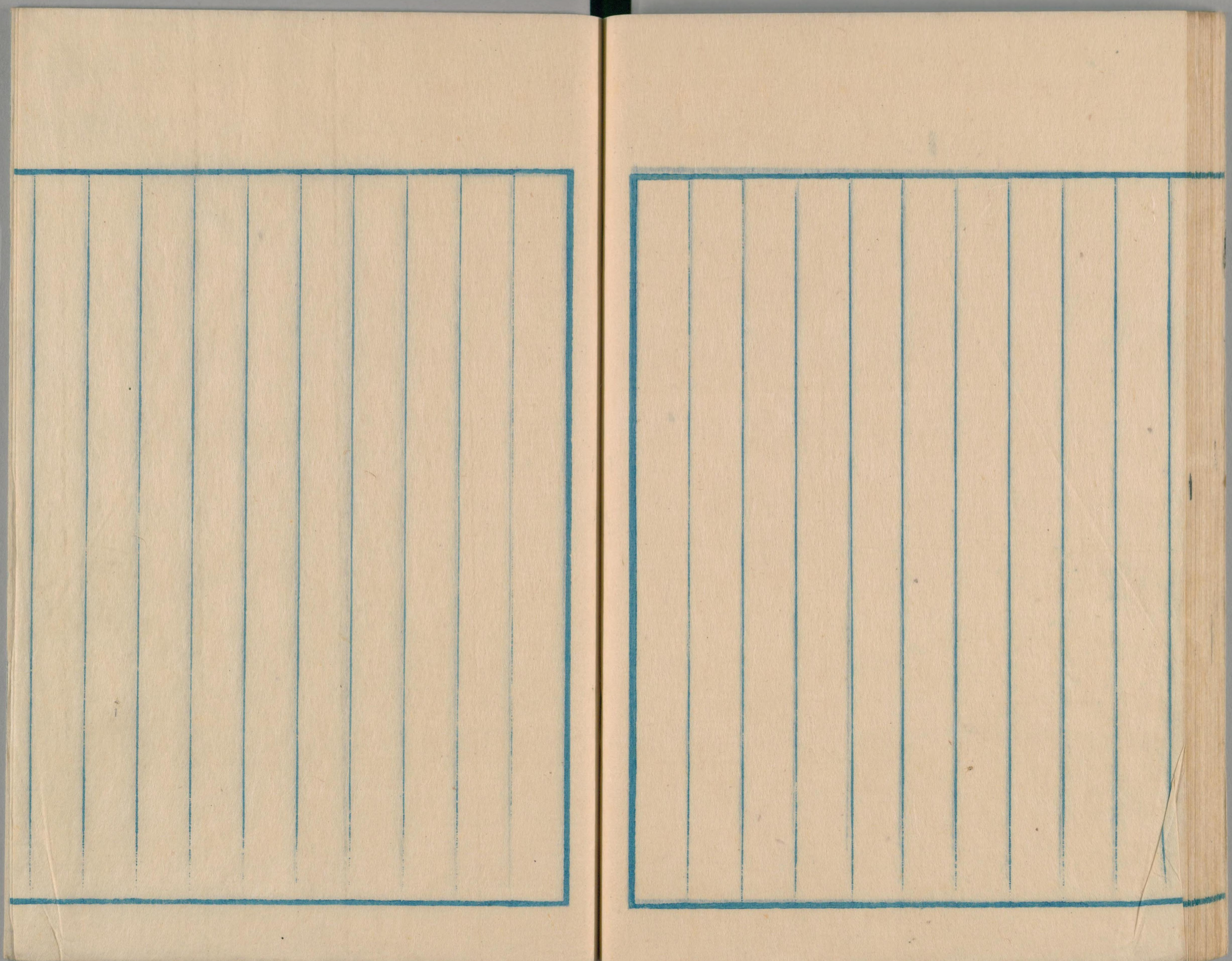




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

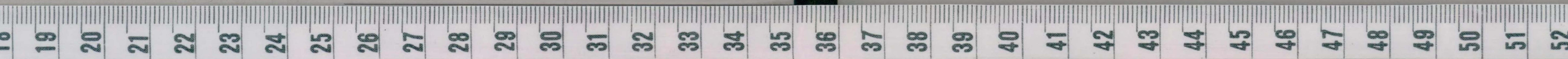




国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用

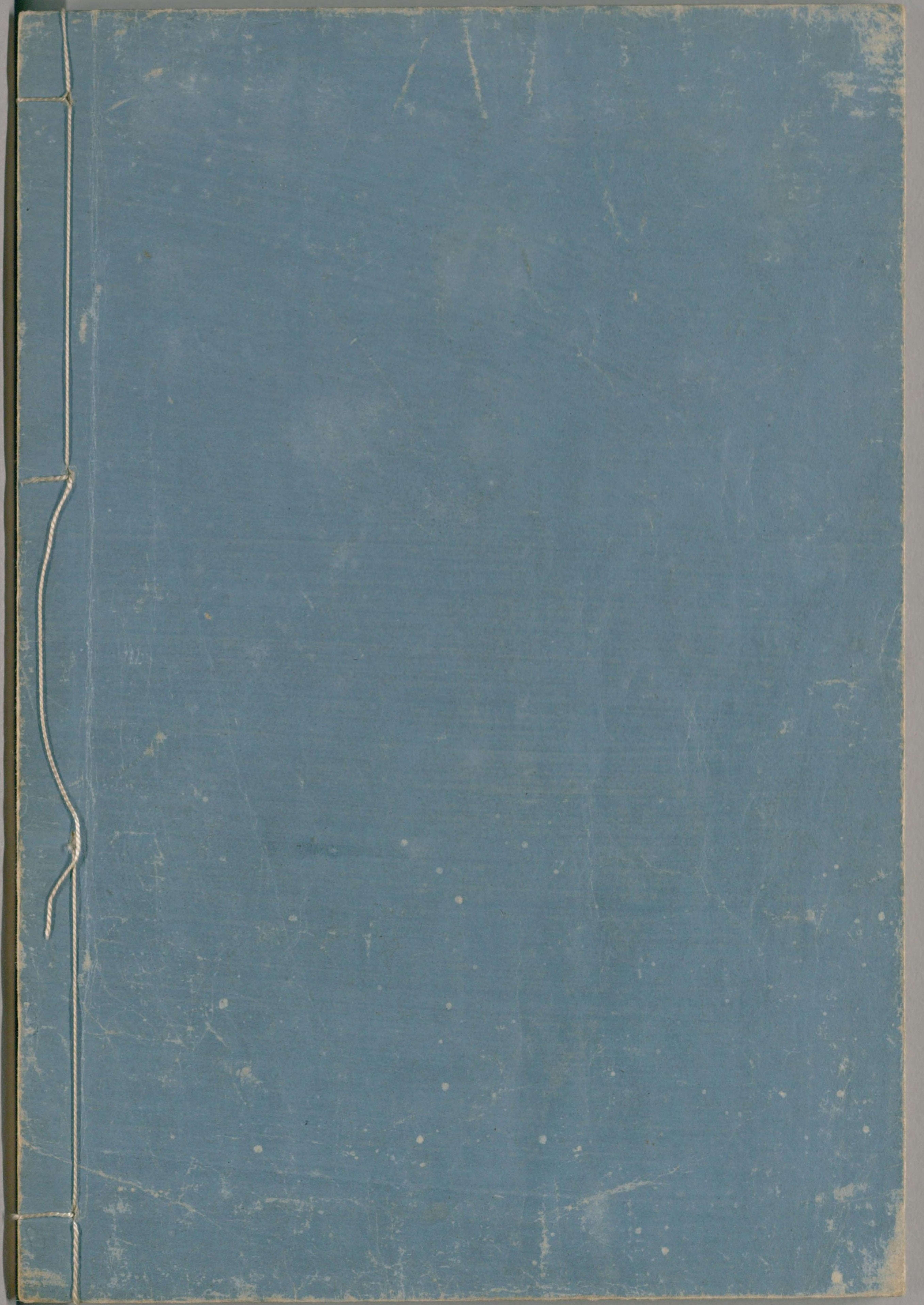












国立国会図書館 タイトル『世情聞書』 請求記号 863-197

ガラス使用